社会（地歴公民科）

1. 学習の到達目標等

学習の到達目標	社会科の見方・考え方を働かせ，必要な資質能力を次の通り育成することを目指す。 （1）私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象や歴史的事実，世界の生活文化の多用性などを基に，それらが日本及び世界の情勢とつながっていることを理解している。 （2）複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現している。 （3）よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，地理・歴史・公民科目を学ぶ意義や目的，考察の方法やその特質について，主体的に理解を深めようとしている。

2. 各教科における学習活動

ペアワーク，グループワーク，レポート，授業ノート，小テスト，定期考査

学習喚起ルーブリック

生徒の望ましい姿 ＼ 教科活動	優	良	可	未達成
ペアワーク	相手の考え方の良い点を取り入れて自分の考えを深めた。	自分の考えを伝え、相手の話をしっかりと聞くことができた。	自分の考えを伝えることができた。	十分な時間取り組むことができなかった。
グループワーク	他者の考えを取り入れ深め，分析しよりよい考え方を共有した。	他者の考え方の類似点や相違点をまとめた。	話し合うことができた。	
授業ノート	授業内容に加えて、期限までに提出し，工夫をして授業内容を記録し，まとめた。	期限までに提出をし，もれなく授業内容を記録した。	期限までに提出した。	
レポート	自分の考え方や傾向を批判的に分析し，的確にまとめられている。	自分なりに要点をまとめ，重要なポイントを見やすく強調した。	期限までに提出した。	
小テスト	よくできている。	できている。	できていないものが多い。	

3. 各科目

1年	地理分野	歴史分野	
2年	地理分野	歴史分野	
3年	歴史分野	公民分野	
4年	地理総合	歴史総合	
5年	日本史探究	世界史探究	公共
6年	政治経済（必修）	日本史探究演習	世界史探究演習
	地理探究	地理探究演習	
	政治経済（選択）	公共演習	

「１年　地理分野」

使用教材　中学生地理（帝国書院），中学校社会地図（帝国書院），　図説地理資料 世界の諸地域 NOW 2025（帝国書院）

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
我が国の国土及び世界の諸地域に関して，地域の諸事象や地域的特色を理解しているとともに，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。	日本や世界の地域に関わる諸事象について，国家及び社会の担い手として，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。

２　年間の学習内容

中学社会　地理	①	世界の姿
	②	日本の姿
	③	人々の生活と環境
	④	アジア州
	⑤	ヨーロッパ州
	⑥	アフリカ州
	⑦	北アメリカ州
	⑧	南アメリカ州
	⑨	オセアニア州

３　学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元（教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	私たちの住む地球を眺めて	【知】六大陸と三大洋および六つの州の位置や分布と名称を理解している。 【思】海峡や運河、山脈などにより、世界は六つの州に区分されることを理解している。 【態】地図や地球儀に親しみ、世界の地域構成や位置の表現方法について主体的に追究しようとしている。
	世界のいろいろな国々の特徴	【知】地図帳を活用し、世界の主な国の位置と名称を理解している。 【思】世界の主な国の特徴を、位置関係や自然環境、面積や人口、国旗、文化など、さまざまな要因から考察し、説明している。 【態】地図や地球儀に親しみ、世界の地域構成や位置の表現方法について主体的に追究しようとしている。
	緯度と経度	【知】緯度と経度のしくみを理解し、地球上の位置を緯度・経度を用いて示している。 【思】地図帳のさくいんを活用し、世界の主な都市の位置を調べ、表現している。 【態】地図や地球儀に親しみ、世界の地域構成や位置の表現方法について主体的に追究しようとしている。
	地球儀と世界地図の違い	【知】地球儀と世界地図の違いを方位や面積、距離などに着目して理解し、正しく活用している。 【思】緯線と経線が直角に交わる地図は、緯度が高くなるほど、実際の面積より大きく表されている理由を考察している。 【態】地図や地球儀に親しみ、世界の地域構成や位置の表現方法について主体的に追究しようとしている。
②	世界のなかでの日本の位置	【知】世界における日本の位置を、緯度・経度や他地域から見た位置関係から理解している。 【思】地図帳や地球儀などを活用し、日本の位置をさまざまな視点から表す方法を考察、表現している。 【態】世界の中での日本の位置や広がりについて関心をもたせ、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に追究している。
	日本と世界各地との時差	【知】世界における日本の位置を、緯度・経度や他地域から見た位置関係から理解している。 【思】地図帳や地球儀などを活用し、日本の位置をさまざまな視点から表す方法を考察、表現している。 【態】地図や地球儀に親しみ、世界の地域構成や位置の表現方法について主体的に追究しようとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
	日本の領域とその特徴	【知】世界の時刻はグリニッジ標準時が基準となっていて、旧グリニッジ天文台との緯度の差で各国の標準時が定められていることを理解しているとともに、世界標準時の仕組みを活用している。 【思】地図帳や等時帯の地図を活用し、日本と世界の国々との時差の求め方を考察している。 【態】世界の中での日本の位置や広がりについて関心をもち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に追究、解決しようとしている。
	都道府県と都道府県庁所在地	【知】日本の領域の範囲を理解し、国土面積の10倍以上の排他的経済水域があることを理解している。 【思】北方領土や竹島、尖閣諸島について、歴史的な経緯や課題などを多面的・多角的に考察している。 【態】世界の中での日本の位置や広がりについて関心をもち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に追究、解決しようとしている。
③	世界のさまざまな生活と環境	【知】世界各地の衣食住の違いなどから、世界にはさまざまな自然環境の地域があることを理解している。 【思】景観写真や雨温図、主題図を活用し、世界のさまざまな地域の気候の特色を考察している。 【態】世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心をもち、主体的に追究しようとしている。
	暑い地域の暮らし	【知】景観写真や雨温図などを活用し、熱帯の分布の特色と気候の特色を理解している。 【思】熱帯に暮らす人々の生活の特色を、インドネシアの人々の衣食住に着目して、自然環境との関わりから考察している。 【態】世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心をもち、主体的に追究しようとしている。
	乾燥した地域の暮らし	【知】景観写真や雨温図などを活用し、乾燥帯の分布の特色と気候の特色を理解している。 【思】乾燥帯に暮らす人々の生活の特色を、アラビア半島の人々の衣食住に着目して、自然環境との関わりから考察している。 【態】世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心をもち、主体的に追究しようとしている。
	温暖な地域の暮らし	【知】景観写真や雨温図などを活用し、温帯の分布の特色と気候の特色を理解している。 【思】温帯に暮らす人々の生活の特色を、スペインの人々の衣食住に着目して、自然環境との関わりから考察している。 【態】世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心をもち、主体的に追究しようとしている。
	寒い地域の暮らし	【知】景観写真や雨温図などを活用し、亜寒帯・寒帯の分布の特色と気候の特色を理解している。 【思】亜寒帯・寒帯に暮らす人々の生活の特色を、シベリアの人々の衣食住に着目して、自然環境との関わりから考察している。 【態】世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心をもち、主体的に追究しようとしている。
	高地の暮らし	【知】写真や雨温図などを活用し、世界の高地の分布や気候の特色を理解することができる。 【思】高地に暮らす人々の生活の特色を、アンデス山脈の人々の衣食住に着目して、自然環境との関わりから考察することができる。 【態】世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心をもち、主体的に追究しようとしている。
	人々の生活と宗教の関わり	【知】世界の主な宗教の分布と、仏教、キリスト教、イスラム教の特色を理解している。 【思】世界各地の宗教とその地域の生活との関連を多面的・多角的に考察している 【態】世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心をもち、主体的に追究しようとしている。
④	アジア州の自然環境	【知】アジア州の自然環境に関する特色を、雨温図や景観写真などから理解している。 【思】アジア州の気候の特色について、モンスーンの影響と関連付けながら多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【態】急激な人口増加と経済発展が、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題とその解決を、主体的に追究しようとしている。
	アジア州の農業・文化と経済発展	【知】農業地域や宗教別人口割合などの資料を活用し、アジア州における農業や宗教、人口分布の特色を理解している。 【思】年間降水量と農業の特色との関係や、農業地域の分布と人口分布との関連について多面的・多角的に考察している。 【態】急激な人口増加と経済発展が、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題とその解決を、主体的に追究しようとしている。
	経済成長を急速に遂げた中国	【知】さまざまな資料から中国の経済成長の様子を読み取り、中国の経済成長の特色を理解している。 【思】さまざまな資料を活用して経済成長を急速に遂げたことで生じている中国が抱える課題について多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】急激な人口増加と経済発展が、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題とその解決を、主体的に追究しようとしている。
	最も近い隣国、韓国	【知】さまざまな資料を活用して、韓国の文化や産業の特色を理解している。 【思】さまざまな資料を活用して、韓国の生活・文化や産業の発展について多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】急激な人口増加と経済発展が、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題とその解決を、主体的に追究しようとしている。
	経済発展を目指す東南アジア	【知】進出した日本企業数の推移や進出の背景を資料から読み取り、東南アジアの工業化について理解している。 【思】経済発展の過程で発生する問題について、農村と都市の両方から考察している。 【態】急激な人口増加と経済発展が、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題とその解決を、主体的に追究しようとしている。
	産業発展と人口増加が急速に進む南アジア	【知】南アジアの農業や工業の特色を資料から読み取らせ、産業の発展について理解している。 【思】インドで ICT 関連産業が成長した背景やインドの抱える課題について、多面的・多角的に考察している。 【態】急激な人口増加と経済発展が、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題とその解決を、主体的に追究しようとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
	資源が豊富な中央アジア・西アジア	【知】資料から、西アジアや中央アジアではさまざまな資源が産出されることと、そのおおまかな分布を理解している。 【思】原油で得た利益を、交通・通信網の整備や観光業の発展などの分野に活用している背景を考察している。 【態】急激な人口増加と経済発展が、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題とその解決を、主体的に追究しようとしている。
⑤	ヨーロッパ州の自然環境	【知】ヨーロッパの山地・山脈の分布と、アルプス山脈の北と南で異なる地形の特色を理解している。 【思】ヨーロッパの気候は、海流と偏西風の影響で緯度のわりに温暖であることを資料を活用しながら考察している。 【態】ヨーロッパ州に暮らす人々に与える影響や、ＥＵに関する課題とその解決を、主体的に追究しようとしている。
	ヨーロッパ文化の共通性と多様性	【知】ヨーロッパ州の文化の特色を、地理的広がりや歴史的背景を踏まえながら理解している。 【思】ヨーロッパ州の宗教と言語の特色を、共通性と多様性の両面から考察している。 【態】ヨーロッパ州に暮らす人々に与える影響や、ＥＵに関する課題とその解決を、主体的に追究しようとしている。
	EU の成り立ちと人々の生活の変化	【知】EU 加盟によって加盟国や周辺国にもたらされる影響について理解している。 【思】EU 設立の理由について考察し、表現している。 【態】ヨーロッパ州に暮らす人々に与える影響や、ＥＵに関する課題とその解決を、主体的に追究しようとしている。
	ヨーロッパ州の農業と EU の影響	【知】ヨーロッパ州の農業の特色や地域での違いを、自然環境と関連させて理解している。 【思】EU がヨーロッパ州の農業にもたらす影響について考察し、表現している。 【態】ヨーロッパ州に暮らす人々に与える影響や、ＥＵに関する課題とその解決を、主体的に追究しようとしている。
	ヨーロッパ州の工業と EU の影響	【知】ヨーロッパ州の工業の特色について、歴史的背景と EU 統合による変化を踏まえて理解している。 【思】EU 加盟後にみられる、工業における変化の背景を考察している。 【態】ヨーロッパ州に暮らす人々に与える影響や、ＥＵに関する課題とその解決を、主体的に追究しようとしている。
	EU 統合による課題への取り組み	【知】EU の拡大に伴って、原加盟国と新規加盟国との間に経済格差が生じていることを、資料から読み取っている。 【思】現在のヨーロッパ州が抱える課題を踏まえて、EU が模索する新たな統合の在り方について考察し、表現している。 【態】ヨーロッパ州に暮らす人々に与える影響や、ＥＵに関する課題とその解決を、主体的に追究しようとしている。
⑥	アフリカ州の自然環境	【知】アフリカ州の自然環境の特色を、地図や主題図の読み取りを通して理解している。 【思】アフリカ州の気候の特色を、植生や人々の暮らしと関連させて考察している。 【態】ヨーロッパ諸国との関係やモノカルチャー経済に着目しながら、アフリカ州の地域的特色への関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。
	植民地支配の影響が残る産業	【知】アフリカ州の国々が植民地支配されていた歴史や植民地時代の宗主国とのつながりを地図活用して理解している。 【思】アフリカ州の産業の発展や特色を、植民地時代の宗主国との結び付きと関連付けて関連付けて考察している。 【態】ヨーロッパ諸国との関係やモノカルチャー経済に着目しながら、アフリカ州の地域的特色への関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。
	アフリカが抱える課題とその取り組み	【知】アフリカ州の抱える課題について、人口の増加や農業の特色を踏まえて理解している。 【思】アフリカ州の発展のために必要な支援について、多面的・多角的に考察している。 【態】ヨーロッパ諸国との関係やモノカルチャー経済に着目しながら、アフリカ州の地域的特色への関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。
⑦	北アメリカ州の自然環境	【知】北アメリカ州の地形について、土地の高低や景観から特色を理解している。 【思】北アメリカ州の気候について、雨温図の読み取りや大陸内の位置から考察している。 【態】世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化に着目しながら、それに関わる課題を主体的に追究しようとしている。
	移民の歴史と多様な民族・文化	【知】北アメリカ州の移民と開拓の歴史について理解している。 【思】地図から、アメリカ合衆国における人種・民族の分布の特色を読み取ることができる。 【態】世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化に着目しながら、それに関わる課題を主体的に追究しようとしている。
	大規模な農業と多様な農産物	【知】アメリカ合衆国の農業について、大規模農業と適地適作の面から理解している。 【思】資料を活用して、アメリカ合衆国とカナダのおおまかな農業地域の分布を理解している。 【態】世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化に着目しながら、それに関わる課題を主体的に追究しようとしている。
	世界をリードする先端技術	【知】アメリカ合衆国の工業の特色を、重工業から先端技術産業への変化に着目して理解している。 【思】アメリカ合衆国で先端技術 d 産業が発達した理由について、多面的・多角的に考察している。 【態】世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化に着目しながら、それに関わる課題を主体的に追究しようとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
	アメリカ合衆国にみる生産と消費の 問題	【知】アメリカ合衆国の大量生産・大量消費にみられる生活や文化の特色を理解している。 【思】アメリカ合衆国の持続可能な社会への取り組みについて多面的・多角的に考察している。 【態】世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化に着目しながら、それに関わる課題を主体的に追究しようとしている。
⑧	南アメリカ州の自然環境	【知】南アメリカ州の自然環境について、雨温図や景観写真などから特色を読み取らせ、理解している。 【思】南アメリカ州の気候について、緯度や標高と関連付けて多面的・多角的に考察している。 【態】近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発による環境問題について主体的に追究している。
	多様な民族や文化が混ざり合う社会	【知】南アメリカ州の自然環境について、雨温図や景観写真などから特色を読み取り、理解している。 【思】南アメリカ州の気候について、緯度や標高と関連付けて多面的・多角的に考察している。 【態】近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発による環境問題について主体的に追究している。
	大規模化する農業と成長する工業	【知】農業や工業の発展の特色について、さまざまな資料を活用しながら理解している。 【思】南アメリカ州の産業が世界に与えている影響や、発展の一方でスラムが発生して貧富の差が拡大していることなどを、多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発による環境問題について主体的に追究している。
	ブラジルにみる開発と環境保全	【知】アマゾンの熱帯林開発とその保全の取り組みについて、資料を読み取り、理解している。 【思】環境保全をめぐる新たな課題について多面的・多角的に考察している。 【態】近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発による環境問題について主体的に追究している。
⑨	オセアニア州の自然環境	【知】オセアニア州の地形の特色を、地図や景観写真を活用して読み取り、理解している。 【思】オセアニア州の気候の特色を、写真や雨温図の読み取り、考察している。 【態】オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究しようとしている。
	移民の歴史と多文化社会への歩み	【知】町並みや宗教、言語などから、オセアニア州の植民地支配の歴史を理解している。 【思】移民の出身国が多様化してきた理由と多文化社会への取り組みを理解している。 【態】オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究しようとしている。
	他地域と結びついて発展する産業	【知】オセアニア州の農業や鉱業の特色を理解している。 【思】オセアニアの国々と日本との結び付きを資料から読み取ることができる。 【態】オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究しようとしている。

「１年　歴史分野」

使用教材　中学歴史　日本と世界（山川出版社），よみとき総合歴史（浜島書店）

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	**【思】思考力・判断力・表現力**	**【態】主体的に学習に取り組む態度**
我が国の歴史の大きな流れを，世界の歴史を背景に，各時代の特色を踏まえて理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	歴史に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情，国民としての自覚，国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深め，国際協調の精神を養う。

年間の学習内容

中学社会　歴史分野	①	歴史との対話
	②	古代までの日本
	③	中世の日本

学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元（教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	私たちと歴史	【知】西暦と世紀，年号，干支の意味と使い方を理解する。 さまざまな時代区分があることを理解する。 【思】各時代の特色や時代の転換に留意して人物を考察し，人物カードにまとめて表現する。
	身近な地域を調べよう	【知】さまざまな調査方法とその注意点を理解する。 【思】意欲的に話し合い活動に取り組み，適切なテーマを設定するとともに，テーマに応じて調査方法を適切に判断し，調査活動で得られた複数の資料に基づいて，多面的・多角的に考察を行う。 【態】身近な地域に関心をもつとともに，レポートと発表の反省点を理解し，次回の調査活動に活かす。
②	世界の諸文明	【知】人類の進化の過程や各文明の特徴，文明によって生み出されたものについて理解する。三大宗教について，それぞれの相違点について理解する。 【思】古代の文明が他の地域に与えた影響や，文明間の関係性について考え，それらを対比的にまとめて表現する。中国文明が東アジア諸国に与えた影響について，具体的に指摘する。三大宗教の広がりについて，現在の宗教の分布と関連づけて考える。 【態】人類の進化の過程や古代文明，三大宗教について，その後の歴史の展開を意識し，現代とのつながりを考察する。
	日本文化のあけぼの	【知】縄文時代と弥生時代の技術や社会の特徴の差異について理解する。古墳時代におけるヤマト政権の成長について理解する。 【思】環境の変化が縄文時代から弥生時代への転換をどのように促進したか考える。ヤマト政権と古墳の形態や分布の関係について考察し，表現する。 【態】日本列島における統一国家の形成過程について，縄文～古墳時代を通して考察し，説明する。
	律令国家の形成	【知】聖徳太子の下での政治のあり方の特徴や，大化の改新で目指された国家像について理解する。白村江の戦いに敗れた後にどのように律令国家の建設が目指されたか理解する。律令制の仕組みと地方支配のあり方について理解する。 【思】国際交流が日本にどのような影響を与えたかということについて，①遣隋使と聖徳太子の政治，②唐の成立と大化の改新，③白村江の戦いと天智朝～天武・持統朝の政治，④遣唐使と天平文化，それぞれの関係性から理解し，説明する。 【態】日本の古代国家の特徴について，東アジア的な視点から考察し，中国文明との連関について説明する。
	貴族政治と国風文化	【知】9 世紀において律令制がどのように変質し，新しい土地支配の仕組みがどのようなものであったか，また文化の面でどのような変化がおこったのかについて理解する。 【思】桓武天皇による「軍事」と「造作」の停止が，律令的な国制が変質し，帝国型の国家構造が目指されなくなったことと軌を一にしていることを理解する。また，国制の変化が，文化や宗教にも影響を与えたことを理解する。 【態】国風文化について，遣唐使の停止によって文化の国風化が進展したと捉えるのではなく，大陸との往来が継続するなかで，中国文化を前提として形成されたことを理解する。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
③	中世社会の成立	【知】武士が関わった政争と，それが武家政権の興亡につながったことを理解する。十字軍やモンゴル帝国の領土拡大により，東西ユーラシアの交流がさかんになったことを理解する。 【思】武家政権と朝廷との関係を，時期区分しながら表現する。 仏教で新たな教えが生まれた要因について，社会情勢をふまえて考察し，表現する。 【態】阿氐河荘など相論の発生した荘園を題材に，実際に行われた裁判を想像しながら，それぞれの立場に立って自己の権利を守るための主張や解決策による利害を考察する。
	武家社会の成長	【知】戦乱の影響から幕府権力が安定しなかったことや，産業の発達から民衆が自立したことで自力救済の考えが広まり，各地で一揆が結ばれたことを理解する。東アジア海域のなかで多くの貿易船が往来したことや，周囲との交流のなかで育まれた琉球やアイヌの文化の特徴を理解する。 【思】南北朝の動乱や応仁の乱といった戦乱が，なぜ守護大名への成長や戦国大名の出現といった変化につながるのかを思考し表現する。 日明貿易において勘合を用いるようになった理由を思考し，他の時代の貿易との相違点を表現する。 【態】東アジア全体やユーラシア大陸全体など，視点を変えた複数の地図を用い，日本や琉球，アイヌのおかれていた状況を考察し表現する。

「２年　地理分野」

使用教材　新しい社会　地理（東京書籍），中学校社会地図（帝国書院），図説地理資料 世界の諸地域 NOW 2025（帝国書院）

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
我が国の国土及び世界の諸地域に関して，地域の諸事象や地域的特色を理解しているとともに，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。	日本や世界の地域に関わる諸事象について，国家及び社会の担い手として，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。

年間の学習内容

中学社会 地理分野	①	**地域調査の手法**
	②	**日本の地域的特色と地域区分**
	③	日本の諸地域～九州地方～
	④	日本の諸地域～中国・四国地方～
	⑤	日本の諸地域～近畿地方～
	⑥	日本の諸地域～中部地方～
	⑦	日本の諸地域～関東地方～
	⑧	日本の諸地域～東北地方～
	⑨	日本の諸地域～北海道地方～

学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元（教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	調査の準備	【知】観察や野外調査，文献調査を行う際の視点や方法，地理的なまとめ方の基礎を理解している。 【思】身近な地域の特色に着目して，適切な調査テーマを設定している。 【態】身近な地域の特色や課題を予測し，見通しをもって主体的に追究していこうとしている。
	野外観察・聞き取り調査	【知】 縮尺，方位，等高線，地図記号など地形図の基本的な読み取り方を理解し，地理的技能を身に付けている。 【思】地域調査において，対象となる場所の特徴などに着目して， 適切な主題や調査，まとめとなるように，調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】地形図から身近な地域の特色を読 み取り，理解している。
	資料を使った調査	【知】さまざまな資料から有用な情報を選択して，地域の特色などを読み取るなどの地理的技能を身に付けている。 【思】地域調査において，対象となる場所の特徴などに着目して， 適切な主題や調査，まとめとなるように，調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】地域調査の手法について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	調査のまとめ	【知】観察や野外調査，文献調査を行う際の視点や方法を踏まえた地理的 なまとめ方の基礎を理解してい る。 【思】地域調査において，対象となる場所の特徴などに着目して，適切な主題や調査，まとめとなるように， 調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】地域調査の手法について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	調査結果の発表	【知】地形図や主題図の読図，目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けている。 【思】地域調査において，対象となる場所の特徴などに着目して， 適切な主題や調査，まとめとなるように，調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】地域調査の手法について，単元冒頭で立てた予測をはじめとして， 自らの学習を振り返りながら粘り強く考察することを通して，主体的に調査テーマを追究し，社会に 関わろうという態度を示してい る。
②	地形から見た日本の特色	【知】日本の特色に関して集めた資料を 使って関連図を作成し，日本にはさまざまな特色があることを理解している。 【思】日本の地域的特色を，山地・山脈，河川，平地，海などに着目して，これらを関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】日本の地域的特色と地域区分について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
	気候から見た日本の特色	【知】日本の気候の特色を景観写真や雨温図，気候区分図から読み取り，日本の気候の特色を理解している。 【思】日本列島が六つの気候帯に大きく区分できる理由について日本の山地・山脈の分布や細長い地形などに着目して多面的に考察している。 【態】日本の地域的特色と地域区分について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	自然災害と防災・減災への 取り組み	【知】さまざまな人々が連携して地域の人々の生命や安全の確保のために活動していることを理解している。 【思】九州地方の地域的特色を，①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信に基づく地域区分などに着目して，それらを関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】日本の地域的特色と地域区分について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	人口から見た日本の特色	【知】人口の移り変わりを示す資料や人口ピラミッドの変化などの資料から，少子高齢化の実態を，国内の人口分布を示す資料を通して過疎・過密問題の実態を読み取り，日本の人口に関する課題を理解している。 【思】過疎，過密地域が抱える課題について，多面的・多角的に考察している。 【態】日本の地域的特色と地域区分について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	資源・エネルギーから見た日 本の特色	【知】日本の抱える環境，エネルギー問題に対処するために，再生可能エネルギーの開発やリサイクルなどの努力をしていることを理解している。 【思】日本の資源・エネルギー利用の現状や日本の発電方法に着目して，日本の課題について多面的・多角的に考察している。 【態】日本の地域的特色と地域区分について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	産業から見た日本の特色	【知】日本の食料自給率が低下していること，産業の空洞化が起きていることなどを諸資料から読み取り，知識を得ている。 【思】日本の第三次産業が盛んな地域について，その理由を考察している。 【態】日本の地域的特色と地域区分について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	交通・通信から見た日本の特 色	【知】日本の交通網の整備が進んでおり，世界的な拠点の一つになっていることを理解している。 【思】日本で輸送手段に違いが見られる原因を，輸送距離，時間，地域性などに着目して多面的・多角的に考察している。 【態】日本の地域的特色と地域区分について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	日本を地域区分しよう	【知】①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信に基づく地域区分を踏まえ，日本の国土の特色を，図にまとめて振り返り，日本の地域的特色を理解している。 【思】日本の地域的特色を，①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信に基づく地域区分などに着目し，それらを関連付けて「外国人の誤解を解く」という形で多面的・多角的に考察し，具体的に表現している。 【態】単元冒頭に立てた予測をはじめとする，自らの学習を振り返りながら，粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し，社会に関わる態度を示している。
③	九州地方をながめて	【知】火山活動に由来する地形や温暖で多雨の気候からなる自然，盛んな農業，北部の平野に多い人口などの特色を理解している。 【思】自然環境の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】九州地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	自然環境に適応する人々の 工夫	【知】桜島の火山噴火にともなう自然災害の実情や災害報道，人々が行う火山灰対策を理解している。 【思】九州地方の風雨にともなう自然災害を，土地や気候といった自然環境の特色と関連付けて考察している。 【態】九州地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	自然の制約の克服と利用	【知】大分県が火山の恵みを，温泉地や地熱発電所に利用してきたことを理解している。 【思】自然環境の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】九州地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	持続可能な社会をつくる	【知】北九州市の新旧写真の比較や水俣市のごみ分別の現状から，環境が大きく改善したことを読み取り，両市の環境保全への取り組みを理解している。 【思】北九州市と水俣市の環境問題に関する共通点と相違点を捉え，持続可能な社会を実現するための取り組みについて考察している。 【態】九州地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
④	中国・四国地方をながめて	【知】自然環境の異なる三つの地域，盛んな農業，人々の生活や産業を変えた交通・通信網の整備，瀬戸内に集中する人口などの特色を理解し，その知識を身に付けている。 【思】中国・四国地方において，交通・通信の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】中国・四国地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	交通網の整備と人や物の移 動の変化	【知】高速道路や橋が整備されたことにより，中国・四国地方内の結び付きや，他地方との結び付きが深まったことを理解している。 【思】交通網の整備を，移動時間の短縮やストロー現象などと関連付けて考察している。 【態】中国・四国地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
	交通網が支える産業とその 変化	【知】人口が集中する瀬戸内の都市の多くが交通の拠点であった城下町を起源としたことを理解している。 【思】中国・四国地方において，交通・通信の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】中国・四国地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	活用される交通・通信網	【知】過疎地域が山間部や瀬戸内海の島々の多くに分布していることをその原因や対策とともに理解している。 【思】過疎地域の対策について，交通・通信網の整備と関連付けて考察し，表現している。 【態】中国・四国地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
⑤	近畿地方をながめて	【知】南北で大きく異なる地形や気候，盛んな工業や商業，中央部に集中する人口などの特色を理解し，その知識を身に付けている。 【思】近畿地方において，人口や都市・村落の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】近畿地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	大都市圏の形成と都市の産 業	【知】大阪市から神戸市にかけての地域は，私鉄によってまちづくりが進んだことを理解し，その知識を身に付けている。 【思】大都市の工業の特色を，国内外の製品との競争や高い技術力などと関連付けて考察し，表現している。 【態】近畿地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	ニュータウンの建設と都市の 開発	【知】神戸市などで大規模な開発が行われてきたこととその課題を，地図や写真を使って読み取っている。 【思】京都市に残っている伝統的な文化や歴史的な景観の保存の意義と課題について，多面的・多角的に考察している。 【態】近畿地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	変化する農村の暮らし	【知】地図を通して過疎地域が都市から離れた山間部や離島に分布していることを理解している。 【思】過疎地域の対策について，都市部との交流と関連付けて考察し，表現している。 【態】近畿地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
⑥	中部地方をながめて	【知】三つに分かれる地域の地形や気候，日本最大の工業生産額とその他の特色ある産業，東海地方に集中する人口などの特色を理解し，その知識を身に付けている。 【思】中部地方において，産業の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】中部地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	特色ある東海の産業	【知】東海の農業の特色を，自然の特色や交通の発達などを示す資料と関連付けて読み取っている。 【思】東海の工業の特色について，交通網や貿易などの社会的条件と関連付けて多面的・多角的に捉え，国際化への対応についても考察している。 【態】中部地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	特色ある中央高地の産業	【知】中央高地の農業や工業の特色を，自然の特色や交通の発達，戦争との関連などを示す資料と関連付けて読み取っている。 【思】中部地方において，③産業の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】中部地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	特色ある北陸の産業	【知】北陸の農業や工業の特色を，豊富な雪どけ水などを示す資料と関連付けて読み取っている。 【思】北陸の伝統産業や地場産業が発展した理由について，冬に雪が多い気候の特色と関連付けて考察し，その過程や結果を表現している。 【態】中部地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
⑦	関東地方をながめて	【知】山地に囲まれた広大な平野と特色ある気候，日本最大の人口密集地域，日本の交通と通信の中心地などの特色を理解し，その知識を身に付けている。 【思】関東地方において，交通・通信の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】関東地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	世界と結び付く東京	【知】東京にさまざまな機能が集中している理由を，政治的中枢機能が集中していることと関連付けて捉えている。 【思】関東地方と世界との結び付きについて，在留外国人数，大使館の分布などの資料を基に，多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】関東地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	東京を生活圏とする人々の 暮らしと交通	【知】特に外国人観光客の増加について写真やグラフから読み取り，交通網の発達が関連していることを理解している。 【思】東京の都心部と郊外の関係について，通勤・通学や都市機能の分散を交通網と関連付けて考察し，表現している。 【態】関東地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	関東地方の多様な産業	【知】関東地方の農業や工業の特色とその変容について，東京と周辺地域との結び付きや人口分布の変化などに着目して捉えている。 【思】関東地方の農業地域と大消費地との関連を考察している。 【態】関東地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
⑧	東北地方をながめて	【知】山地が多く東西で大きく異なる気候，盛んな農業，鉄道や道路の路線に集中する人口などの特色を理解し，その知識を身に付けている。 【思】東北地方において，生活・文化の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】東北地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	祭りや年中行事の伝統とそ の変化	【知】祭りをはじめとする独特の民俗行事や習慣を示す写真資料を通して，東北地方の生活・文化の特色を理解している。 【思】東北地方において，生活・文化の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】東北地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	伝統工芸品の生産・販売とそ の変化	【知】東北地方の伝統産業や地場産業が発展した理由について，自然環境の特色と関連付けて理解し，その知識を身に付けている。 【思】東北地方の産業の課題や転換について，時代や社会の動きなどと関連付けて，多面的・多角的に考察している。 【態】東北地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	過去の継承と未来に向けた 社会づくり	【知】東日本大震災の被害の経験について関心を持ち，過去の災害の教訓がどのように生かされているのかを理解している。 【思】石碑や伝承などを通して，人々がどのような思いで災害の教訓を受け継ぎ，未来へ向けて生かそうとしてきたのか，多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】東北地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
⑨	北海道地方をながめて	【知】日本の約 20%をしめる広大な面積，冷帯に属す気候，盛んな農業，少ない人口などの特色を理解し，その知識を身に付けている。 【思】北海道地方において，自然環境の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】北海道地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	自然の制約に適応する人々 の工夫	【知】冬の寒さや火山活動による厳しい自然環境に対して，人々がどのような工夫を行っているのかを資料などから適切に読み取っている。 【思】北海道地方では，冬の寒さや火山，豊かな海を利用した産業が行われていることを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】北海道地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	自然の制約や社会の変化を 乗りこえる	【知】農業に適さない気候や土壌の問題に対して，人々がどのように対応し，乗りこえて農業を営んできたか理解し，その知識を身に付けている。 【思】現在，北海道の人々が直面している課題に対して，どのように対応すべきかを多面的・多角的に考察している。 【態】北海道地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	自然の特色を生かした産業	【知】気候の特色によって，北海道地方への観光客が 8 月に多いことを理解している。 【思】北海道地方の観光業について，広がるエコツーリズムなどの持続可能な社会づくりと関連付けて考察し，表現している。 【態】北海道地方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

「２年　歴史分野」

使用教材　中学歴史　日本と世界（山川出版社），よみとき総合歴史（浜島書店）

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史の大きな流れを，世界の歴史を背景に，各時代の特色を踏まえて理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	歴史に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情，国民としての自覚，国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深め，国際協調の精神を養う。

年間の学習内容

中学社会 歴史分野	第４章	近世の日本
	第５章	近代の日本と国際社会

学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
第4章　近世の日本	一体化へ向かう世界	【知】ルネサンスと宗教改革がもつ歴史的意義，新航路の開拓が進められた背景・経過・結果，世界の交易の空間的な広がりについて，それぞれ理解する。 【思】大航海時代とヨーロッパの海外進出，植民地化，アジアで繁栄していた諸国家，多面的・多角的に思考して，地図や表を用いて表現する。 【態】アメリカにおける黒人差別，アフリカの経済的停滞や貧困など，現代的な課題とつながりをもつことに気づく。
	近世社会の成立	【知】ヨーロッパ人との交流が始まった国際的背景や南蛮貿易の特徴，織田信長と豊臣秀吉の統一事業の過程と対外政策について，それぞれ理解する。 【思】キリスト教伝来の背景と日本の政治・社会に与えた影響，検地と刀狩によって生み出された近世の支配の仕組みなどを，多面的・多角的に思考する。 【態】桃山文化の特色を理解し，現在の生活や文化のなかに，桃山文化の影響が残っていることを具体的に考察する。
	幕藩体制の確立	【知】江戸幕府による大名・朝廷・寺院統制の方針，幕藩体制のなかで村と百姓および町と町人が果たした役割，幕府の対外政策のねらいを理解する。 【思】幕藩体制のもとでの村や町の自治的運営，四つの窓口における世界との交流などを，多面的・多角的に思考して，文章や表を用いて表現する。 【態】先住民族として独自性を有するアイヌの人々の生活や文化について，関心と理解を深める。
	幕藩体制の展開	【知】農業生産の発展や諸産業の発達，街道や河川・海上交通の整備，貨幣・金融制度の仕組み，三都のそれぞれの特徴について，理解する。 【思】平和の到来を前提として，幕府政治が変化して安定をみせたこと，都市の経済的発展が促されたことなどを，多面的・多角的に思考して，説明する。 【態】現在に伝わっている特産物の誕生や交通網の整備について，図書館や博物館などを利用して身近な地域の具体例を調査し，意欲的に発表する。
	幕藩体制の動揺	【知】幕府が直面した課題をふまえながら，享保の改革，田沼時代，寛政の改革，天保の改革の諸政策とそのねらいを，それぞれ理解する。 【思】民衆文化が教育の普及と文化の広がりを背景に展開したことなどを，具体例に基づいて多面的・多角的に思考し，文章で表現する。 【態】衣食住，年中行事，祭礼などにおいて，各地域に生活に根ざした文化が生まれ，現在とも結びついていることに気づく。
第5章　近代の日本と国際社会	欧米諸国の近代化と日本への接近	【知】市民革命，産業革命のもつ歴史的意義について理解する。 【思】イギリス・アメリカ・フランスにおいて，市民革命の理念や理想がどの程度実現したかについて思考して表現する。 【態】市民革命の理念・理想が現在の政治においてどの程度実現されているかを分析し，その実現のために何が必要であるかを具体的に考察する。産業革命によって生じた社会問題について，現在の社会問題との共通点や相違点を考察する。
	開国と幕末の動乱	【知】開国による幕府の外交政策の変化を理解する。貿易が与えた経済の状況と，それによって高揚した尊王攘夷運動の関係を理解する。 【思】幕末の日本をめぐる状況について，欧米列強の視点，倒幕側の視点，幕府側の視点を設定したうえで，思考し，表現する。 【態】開国・貿易による経済状況，倒幕運動などの局面における幕府の政策判断の是非について具体的に考察する。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法
		【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
	立憲国家への道	【知】教育制度・徴兵制度・殖産興業・文明開化などの明治政府による一連の改革を理解する。明治初期の対外関係では，アジア諸国とどのような関係が結ばれたかを理解する。国会開設・憲法制定にいたる自由民権運動と明治政府の動向について経緯・結果を理解する。 【思】明治政府の一連の改革によって，人々の生活がどのように変化したかを思考し，表現する。 明治政府の対外政策によって，アジア諸国やそこに住む人々にどのような影響を与えたかを思考し，表現する。 【態】明治政府の一連の改革について，国民の立場からその是非について具体的に考察する。また，当時の国際環境や国内の状況をふまえたうえで，どのような改革案が提示できるかについても具体的に考察する。

「３年　歴史分野」

使用教材　中学社会　日本と世界（山川出版社），よみとき総合歴史（浜島書店），高等学校世界史Ａ新訂版（清水書院），

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
明治以降の日本や世界の歴史の流れ，その時々の社会的事象に関する幅広い知識や技能を身に付けている。	基本的な知識とさまざまな資料を活用しながら，歴史的事象の背景や原因，影響について，多面的･多角的な考察を行い，表現する能力や能力を養う。	，歴史的事象の背景や原因，影響について，多面的･多角的に追求し，表現しようとしている。

年間の学習内容

新編　日本の歴史	①	近代の日本と世界
	②	二度の世界大戦と日本
	③	現代の日本と世界

３　学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元（教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	明治・日本の国づくり	【知】明治政府の新しい国づくりの方針や具体的な施策について，様々な資料を活用して，その過程や結果を読み取ったりまとめたりしている。 【思】欧米列強の重圧が，わが国の政府に近代化を急がせたことを踏まえ，それぞれの改革の意義を説明できる。 【態】明治維新について地域に伝わる伝承や史跡に関心をもち，意欲的に調べようとしている。
	アジア最初の立憲国家・日本	【知】教科書の様々な資料から，わが国が自由民権運動や戦争を経て，国際社会で生き残ろうと努力してきた歩みを読み取っている。 わが国の近代化の成功や対外戦争での勝利が，諸外国に与えた様々な影響について，多面的・多角的に理解している。 【思】国内の近代化や対外戦争の勝利を果たすことによって欧米列強との不平等条約の改正が成し遂げられた，という当時の時代状況について考察している。 【態】近代化と国力の充実を両輪として，わが国が国際的地位を確立していった努力に関心をもち，その経緯を意欲的に調べようとしている。
	近代産業の発展と近代文化の形成	【知】様々な資料からわが国の産業発展のようすを読み取るとともに，明治の文化や学問を支えた人物についても読み取ったりまとめたりしている。 近代化の波が産業や文化の面でどのように押し寄せ，人々の生活を変えていったのか理解している。 【思】急速な近代化・欧米化の進展のなかで，わが国が発展した点，新たな問題を抱えた点などについて，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 【態】明治の文化や産業の発達に関心をもち，この時代の郷土の文化人や実業家などについて，意欲的に調べようとしている。
②	第一次世界大戦前後の日本と世界	【知】様々な資料から，第一次世界大戦による被害の大きさやその反省から生じた世界の新しい動きを読み取っている。 大正時代の政治の動き，および文化の特色，社会の変化を国際情勢を踏まえて理解している。 普選運動などにより選挙権を得た人々が増加していったことについて，グラフや表などの資料から，その推移を読み取ったりまとめたりしている。 【思】国際的な地位を固めたわが国が，同時に列強の一員としての責務を背負ったことについて考察している。 民族自決や共産主義が力を伸ばしていくなかで，わが国でも民主化への要望が高まっていったということを考察している。 【態】民主政治の成熟が促した世界情勢に関心をもち，わが国での影響について，意欲的に調べようとしている。
	第二次世界大戦終結までの日本と世界	【知】日中戦争，第二次世界大戦，太平洋戦争（大東亜戦争）に関する様々な資料から，世界各地で起こった紛争が，史上最大の戦争につながっていったことを読み取っている。 世界恐慌に際して大陸への進出を拡大しようとするわが国の動きに対し，米・中・ソなど各国がどのように反応したか理解している。 【思】国際協調体制が，恐慌によって一挙に崩れ，ファシズムを生み出した経緯について考察している。 【態】戦争の原因やその過程，被害の状況に関心をもち，戦争がどのようにして起こったのかについて，意欲的に調べようとしている。
③	第二次世界大戦後の占領と再建	【知】写真やコラムなどの資料から，第二次世界大戦後の世界がアメリカとソ連を中心とする東西両陣営の対立へと推移していったことを読み取っている。 冷戦の発生とその激化について把握するとともに，わが国の進路が占領政策と冷戦の進行によって大きな影響を受けたことを理解している。 【思】国際情勢の変化により，占領政策の方針が転換した結果，わが国の独立回復が早まり，西側陣営に加わることとなったという当時の時代状況について考察している。 【態】憲法改正の経過に関心をもち，ＧＨＱの占領政策の目的を踏まえ，新憲法が制定された経緯について，意欲的に調べようとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法
		【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
	経済大国・日本の国際的役割	【知】高度経済成長期以降のわが国の足取りの概要や，わが国が国際社会のなかで果たすべき役割を理解している。 教科書の様々な資料などから，現代のわが国が抱えている国内外の課題を読み取ったりまとめたりしている。 【思】冷戦・公害・石油危機など，わが国が多くの問題に直面し，これらをどのように乗り越えてきたのか，その過程について考察している。 【態】戦後のわが国の歩みや社会の変化に関心をもち，家族や地域の人々への聞き取りを行うなど，意欲的に調べようとしている。

「３年　公民分野」

使用教材　中学社会　公民　ともに生きる（教育出版）・ライブ！2023　公共，現代社会を考える（帝国書院）ビジュアル公民（東京法令出版）

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
社会的事象に関する幅広い知識や技能を身に付けている。	さまざまな資料を活用しながら社会的な課題を追求し，工夫して表現する能力や，多面的･多角的な考察を行う能力養う。	国際社会に生きる民主的，平和的な国家･社会の形成者としての自覚を高めようとしており，積極的に他者や社会に関わったり，ものの見方，感じ方，考え方を深めたりしている。

年間の学習内容

中学社会　公民	①	私たちの暮らしと現代社会
	②	個人を尊重する日本国憲法
	③	私たちの暮らしと民主政治
	④	私たちの暮らしと経済
	⑤	安心して豊かに暮らせる社会
	⑥	国際社会に生きる私たち
	⑦	私たちが未来の社会を築く

学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元（教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	私たちが生きる現代社会	【知】　現代日本の特色として少子高齢化，情報化，グローバル化などが見られることについて理解している。 【思】　少子高齢化，情報化，グローバル化などが現在と将来の政治，経済，国際関係などに与える影響について，位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目しながら多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】　少子高齢化，情報化，グローバル化が政治，経済，国際関係に影響を与えていることについて，現代社会にみられる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。
	現代につながる伝統と文化	【知】現代社会における文化の意義や影響について理解している。 【思】位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】教私たちが生きる現代社会と文化の特色について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
	私たちがつくるこれからの社会	【知】現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして，対立と合意，効率と公正などについて理解している。また，人間は本来社会的存在であることを基に，個人の尊厳と両性の本質的平等，契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。 【思】対立と合意，効率と公正などに着目して，社会生活における物事の決定の仕方，契約を通した個人と社会との関係，きまりの役割について多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】現代社会を捉える枠組みについて，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
②	日本国憲法の成り立ちと国民主権	【知】　日本国憲法が基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義を基本原則としていること，日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 【思】対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】個人の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
	憲法が保障する基本的人権	【知】個人の尊重についての考え方を基本的人権を中心に深め，民主的な社会生活を営むためには法に基づく政治が大切であることや，法の意義を理解している。 【思】対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，基本的人権を中心とした個人の尊重の考え方や，民主的な社会生活を営むことの意義について多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】基本的人権を守ることや法に基づく政治の意義などについて，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
	私たちと平和主義	【知】 平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して，国の安全と生存を保持しようと願い，日本が国際紛争解決の手段として戦争を放棄し，陸海空軍その他の戦力を保持しないことを決意したことについて理解している。 【思】対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，我が国の防衛・安全と世界平和を確立し実現することの意義について，多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】未来にむけた世界の平和の構築のために，具体的な活動に取り組んでいる人々の姿から，人間の生命の尊さ，平和の尊さを自覚し，国際社会における平和の構築などについて，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
③	民主政治と日本の政治	【知】 議会制民主主義の意義や多数決の原理とその運用の在り方，国会を中心とする我が国の民主政治のしくみのあらましや政党の役割について理解している。 【思】対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【態】民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
	三権分立のしくみと私たちの政治参加	【知】 国会は，国権の最高機関であり，国の唯一の立法機関であることや，内閣については，我が国が議員内閣制を採用していること，法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。また，三つの権利が均衡を保ちながら果たしている役割を理解している。 【思】対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，将来の主権者として主体的に政治に参加することの意義や，法に基づく裁判の保障，民主的な政治と政治参加に関わる課題について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【態】民主的な国の政治のしくみや政治参加の方法，司法権の独立と法による裁判が憲法で保障されていることなどについて，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
	地方自治と住民の参加	【知】 地方自治の基本的な考え方や，首長と議会の二つの機関を中心に行われる地方自治体の政治のしくみ，住民の権利や義務について理解している。 【思】対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，地方自治体が果たしている役割や地方財政のあり方などについて多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【態】地方自治体で行われている実際の政治と身近な暮らしとの関連や，地域の政治に参加することの意義などについて，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
④	消費生活と経済活動	【知】身近な消費生活を中心に，経済活動の意義や流通のしくみについて理解している。 【思】対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，個人や企業の経済活動における役割と責任や流通機構の変化について多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】身近な消費生活や流通のしくみと経済活動とのつながりについて，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
	企業の生産のしくみと労働	【知】現代の生産のしくみや企業のしくみと役割，勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 【思】対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，企業の経済活動における役割と責任や，社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】企業がもつ社会的責任や，社会の中で働くことの意義などについて，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
	市場のしくみとはたらき	【知】市場経済の基本的な考え方や，市場における価格の決まり方と資源の配分について理解している。 【思】対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，市場メカニズムが公正にはたらくために必要な条件や制度について多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
	金融のしくみと財政の役割	【知】現代の金融のしくみやはたらき，財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解している。 【思】対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，金融機関の果たす役割や財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【態】国民生活における金融機関や財政の果たす役割について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
⑤	暮らしを支える社会保障	【知】 社会資本の整備，公害の防止など環境の保全，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，消費者の保護についてそれらの意義を理解している。 【思】対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，市場の働きに委ねることが難しい諸課題に関して，国や地方自治体が果たす役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【態】国民生活に社会保障が果たす役割について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
	これからの日本経済の課題	【知】公害など環境汚染や自然破壊の問題とその改善のあり方，グローバル化が進む国際社会における日本の貿易の過去と現状，地域社会の現状など，日本経済のこれからのあり方や課題の解決に向けて考えを深めていくための知識を理解している。 【思】対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，環境保全の問題，グローバル化する国際社会における日本，地域経済の活性化など，これからの日本経済のあり方や課題とその解決について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【態】環境保全の問題，グローバル化する国際社会における日本，地域経済の活性化など，これからの日本経済のあり方や課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
⑥	国際社会の平和を目ざして	【知】国際社会において，領土(領海，領空を含む。)，国家主権，国際連合の働きなどの基本的な事項を中心に，国際協調の観点から国家間の相互の主権の尊重と協力，各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。 【思】対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の果たすべき役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【態】国際社会の平和と秩序を維持していくために，国際機構が果たす役割の大切さや，よりよい社会を築いていくために，国や企業，民間団体や個人でもできる国際支援の在り方などについて，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
	国際社会が抱える課題と私たち	【知】地域紛争とその背景，地球環境，資源・エネルギー，貧困など国際社会が抱える多くの課題の解決のために，国際社会全体の経済的，技術的な協力などが大切であることを理解している。 【思】対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，地域紛争とその背景，地球環境，資源・エネルギー，貧困など国際社会が抱える多くの課題の解決のために，我が国の果たすべき役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【態】国際社会の平和の維持と現代の国際社会が抱えるさまざまな課題について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
⑦	持続可能な未来の社会へ	【知】評価項目なし。 【思】社会的な見方・考え方を働かせ，私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【態】私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

「４年　地理総合」

使用教材　高等学校　新地理総合(帝国書院)，新詳高等地図（帝国書院)，準拠ノート　高等学校新地理総合（帝国書院)，
新詳地理資料 COMPLETE2025（帝国書院）

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を身に付けている。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深めている。

年間の学習内容

地理総合	①	地図でとらえる現代世界
	②	国際理解と国際協力
	③	持続可能な地域づくりと私たち

学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元（教材名）	評価基準・評価方法 【知】(知識・技能)　【思】(思考力・判断力・表現力)　【態】(主体的に学習に取り組む態度)
①	地図と地理情報システム	【知】・日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に，地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 【思】地図や地理情報システムについて，位置や範囲，縮尺などに着目して，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察している。 【態】地図や地理情報システムについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。
	結びつきを深める現代世界	【知】現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に，方位や時差，日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きについて理解している。 【思】現代世界の地域構成について，位置や範囲などに着目して，主題を設定し，世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】現代世界の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。
②	生活文化の多様性と国際理解	【知】・世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思】世界の人々の生活文化について，その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】生活文化の多様性と国際理解について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。
	地球的課題と国際協力	【知】世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 【思】世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について，地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】地球的課題と国際協力について，より
③	自然環境と防災	【知】我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に，地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 【思】地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】自然環境と防災について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとして

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法
		【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
	生活圏の調査と地域の展望	【知】生活圏の調査を基に，地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 【思】生活圏の地理的な課題について，生活圏内や生活圏外との結び付き，地域の成り立ちや変容，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【態】生活圏の調査と地域の展望について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。

「４年　歴史総合」

使用教材　歴史総合　近代から現代へ（山川出版社），問いからはじまる歴史総合（とうほう），要点整理　ゼミナール歴史総合（浜島書店）

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。

２　年間の学習内容

歴史総合　近代から現代へ	①	歴史の扉
	②	近代化への問い
	③	近代化と私たち
	④	近代化と現代的な諸課題
	⑤	国際秩序の変化や大衆化への問い
	⑥	国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題
	⑦	グローバル化への問い
	⑧	グローバル化と私たち
	⑨	現代的な諸課題の形成と展望

３　学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	歴史の扉	【知】・身近な砂糖を題材に私たちの生活が，日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・台湾における砂糖の生産を題材に，資料の種類・特性や作成の時期・場所・主体・目的・脈絡等をふまえた批判的な読みとりと吟味が重要であることを理解している。 【思】・砂糖を題材に近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と関わらせて，日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し，表現している。 ・資料や図版などから適切に情報を読みとり，時期や立場による書かれ方の違いなどを判断している。 ・台湾における砂糖の生産を題材に複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読みとった情報の意味や意義，特色などを整理し，表現している。 【態】・身近な題材に対してみずから「問い」を立て，歴史との関連を追究しようとしている。 ・資料から読みとったことを生徒相互に発表したり，対話したりするなどして，資料にもとづいた考察をしようとしている。 ・資料を読みとる際の注意点を整理し，学習への見通しを立てようとしている。
②	１交通と貿易／２産業と人口／３権利意識と政治参加や国民の義務／４学校教育／５労働と家族／６移民	【知】・資料を利用して，交通の発達や貿易の拡大，産業発達と人口増加の関連性，また身分を問わずに権利や義務を課すこと，学校教育の均質化・一般化が近代化の重要な側面であることを理解している。 ・資料を利用して，産業革命による労働の変化と家族のあり方の変化，移民の増加が近代化の重要な側面であることを理解している。 【思】・諸資料から，交通の発達や貿易の拡大が近代化にあたえた影響や産業革命前後に発生した産業と人口の変化の関係性について考察している。 ・諸資料から，日本で 19 世紀におこなわれた，身分を問わずに義務を課そうとする動きや，同様に身分を問わずに権利を獲得しようとする動きの関係性，学校教育の均質化・一般化が近代化にあたえた影響について考察している。 ・諸資料から，産業革命によって労働環境・家族形態が変化する理由，近代において移民が増大した理由について考察している。 【態】・交通の発達や貿易の拡大，産業の発達や人口の増加，権利と義務の関係性について，見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・学校教育の均質化・一般化，産業革命にともなう労働や家族の変化，近代における移民増加の背景について，見通しをもって学習に取り組もうとしている。
③	結びつく世界	【知】18 世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と，日本への影響について，資料を読み取り，理解している。 【思】「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し，みずからの言葉で表現している。 【態】18 世紀の世界交易が，現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	【知】市民社会と国民国家の形成，資本主義社会と国際分業体制確立の経緯について，資料を読み取り，理解している。 【思】市民革命および産業革命の経緯などから，諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し，みずからの言葉で表現している。 【態】市民革命や産業革命が，現代社会に与えた影響と課題について，追究しようとしている。
	明治維新と日本の立憲体制	【知】明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について，資料を読み取り，理解している。 【思】明治維新の歴史的な意義について，現代の日本への影響と関連付けて考察し，みずからの言葉で表現している。 【態】明治維新やアジア諸国の変容が，現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
	帝国主義の展開とアジア	【知】日本における帝国主義の展開，列強のアジアへの進出とその影響や諸国の対応について，資料を読み取り，理解している。 【思】日本における帝国主義の展開，列強のアジアへの進出とその影響について考察し，みずからの言葉で表現している。 【態】日本における帝国主義の展開や欧米列強の動向が，社会に与えた影響について，多面的に追究しようとしている。
④	自由・制限／開発・保全	【知】自由・制限，開発・保全の観点から，諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ，現代的な諸課題に関わる近代化の歴史を理解している。 【思】自由・制限の観点から，国家間の関係の変化などに着目して，これまでの学習を振り返り，諸資料を活用して，現代的な諸課題との関連を考察し，探究した結果を表現している。 【態】自由・制限，開発・保全について，よりよい社会の実現を視野に，自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに，次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。
⑤	第一次世界大戦と大衆社会	【知】ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と，国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について，資料を読み取り，理解している。 【思】新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し，みずからの言葉で表現している。 【態】ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と，２０世紀前半における大衆社会の到来が，現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
⑥	経済危機と第二次世界大戦	【知】世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について，大衆とマスメディアの関わりに着目しながら，資料を読み取り，理解している。 【思】ファシズム体制の形成から終戦に至るまで，大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し，みずからの言葉で表現している。 【態】世界恐慌後の各国の政治的判断と，大衆の戦争協力が，現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
	戦後の国際秩序と日本の改革	【知】冷戦構造の形成と，国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について，日本と関連付けながら資料を読み取り，理解している。 【思】国際連合を中心に，第二次世界大戦以前と以後の国際秩序を比較することで，戦争の経験が人々に何をもたらしたのかについて考察し，みずからの言葉で表現している。 【態】大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が，現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
	国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	【知】学習したことを基に，国際秩序が大きく変化し，大衆化が進展した時期についてまとめ，その特徴を理解している。 【思】問いに対し，キーワードとなる５つの視点のいずれかから考察し，資料を用いて根拠を明らかにして，みずからの見解を表現している。 【態】国際秩序の変化や大衆化に関連する現代の課題について考察し，歴史的な経緯を踏まえたうえで解決策を追究している。
⑦	グローバル化への問い	【知】グローバル化に関する複数の資料を分析し，そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付けている。 【思】資料から得た情報と，中学校までの学習で得た知識を総合し，グローバル化を読み解く問いを表現している。 【態】多様な人々が共存する社会の発展について，見通しをもって学習に取り組もうとしている。
⑧	冷戦と世界経済	【知】冷戦下の緊張と緩和の経緯と，そのなかでの日本の高度経済成長や，脱植民地化を目指す動きについて，資料を読み取り，理解している。 【思】冷戦下の世界と日本の動向について，政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し，みずからの言葉で表現している。 【態】冷戦下における各国の動向が，現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
⑨	グローバル化する世界	【知】冷戦下の１960 年代から 80 年代における各国の選択と経済成長について，資料を読み取り，理解している。 【思】各国の選択を比較し，「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し，みずからの言葉で表現している。 【態】冷戦下における各国の政治的・経済的選択が，現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
	現代の課題	【知】冷戦終結の過程とグローバル化の特質について，資料を読み取り，理解している。 【思】グローバル化の進展や地域統合，ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し，その特質や問題点をみずからの言葉で表現している。 【態】冷戦の終結とグローバル化の進展が，現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
⑨	現代的な諸課題の形成と展望	【知】・諸資料から問いを立てることや，経緯や背景，共通点や相違点，担い手といった視点から整理することが有効であることを理解している。 ・身近な課題を考察するうえで歴史的な見方や考え方を活用することが，現在の課題解決や私たちの将来を構想するうえで大切だと理解している。 【思】・事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連づけたり，現代的な諸課題を展望したりするなどして，主題について考察，構想し，表現している。 ・資料に対し，その時代や資料を記録したものの立場などを文脈に応じて適切に分析し，資料の意義を判断している。 【態】みずから問いを立て，分析の方法や視点を設定し，その答えを追究しようとしている。

「５年　日本史探究」

使用教材　　詳説日本史　日本史探究（山川出版社）　　詳説日本史探究（浜島書店）　　日本史１０分間テスト（山川出版社））

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を身に付けているとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

年間の学習内容

「日本史探究」	①	日本文化のあけぼの
	②	古墳とヤマト政権
	③	律令国家の形成
	④	貴族政治の展開
	⑤	院政と武士の躍進
	⑥	武家政権の成立
	⑦	武家社会の成長
	⑧	近世の幕開け
	⑨	幕藩体制の成立と展開

学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	1 文化のはじまり 2 農耕社会の成立	【知】・旧石器時代の頻繁な移住をともなう狩猟・採集に対して縄文時代が定住を前提とする豊かな狩猟・採集文化だったことについて，縄文文化における定住的住居の建設に関わる磨製石器，豊かな採集・狩猟生活の発展を示す骨角器や縄文土器などの多様な器物，大型祭祀遺跡や大集落遺跡などの諸資料から適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 ・多様な機能に分化した簡素な土器，鉄器や祭祀に特化し地域性をもつ青銅器などに特徴づけられる弥生時代における稲作農耕の発生からはじまり小国家が形成され邪馬台国連合が成立するまでの歴史過程について，東アジア社会の歴史と関連付けながら総合的に捕らえて理解するとともに，環濠集落や高地性集落の遺跡などの諸資料から，我が国の歴史の段階性に関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 【思】・地球規模の氷河期から温暖化にともなう植生や生息動物の大きな環境の変化と，旧石器文化から縄文文化への変化の関連について，考古学的遺物や歴史地理学的な資料などから多面的・多角的に考察し，表現する力を身に付けている。 ・田植え，用水路による灌漑技術などを含め完成された大陸における稲作文化が，弥生時代の人びとの生活や文化，さらには政治的結合におよぼした影響について，墳丘墓などに発展していく墓地や副葬品などの考古学的資料を多面的・多角的に考察し表現する力を身に付けている。 【態】大陸とつながっていた時期の日本列島における旧石器文化の成立，温暖化により列島が形成された時期の縄文文化の発展について，膨大で多様な考古学的な資料や中国史料を基に，弥生時代における稲作文化の成立および邪馬台国連合に至る政治的結合の発展について，世界や東アジアに関わる諸事象について，広い視野から見通しをもって学習に取り組み，他文化や国際理解を深めようとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
②	１古墳文化の展開 ２飛鳥の朝廷	【知】前方後円墳を中心とする古墳の全国への広がりとその終焉や古墳文化の特色，さらに隋・唐帝国の成立という東アジア情勢の変化のなかで倭国が築いた屯倉・部民制・国造制などの国制や冊封などの国際関係などについて，諸資料を活用し学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付けている。 【思】南北朝・隋代の中国王朝および高句麗などの朝鮮諸国との関係と，倭国の政治や文化への影響などに着目して，ヤマト政権の成立・展開について多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈を根拠にもとづき表現する力を身に付けている 【態】倭国における古墳時代や推古朝の政治制度や文化について，中国を中心とする東アジア世界の政治的関係や朝鮮三国からの文化や，百済からの仏教の公伝，五経博士の派遣などとの関連に着目して広い視野から見通しをもって学習に取り組み，他国や他国の文化を尊重することの重要性についての自覚を深めている。
③	１律令国家への道 ２平城京の時代 ３律令国家の変容	【知】・唐を中心とする東アジアにおける国際秩序と大化改新から天武・持統朝における急速な日本の律令体制の成立や律令制的支配の特色について，木簡など豊かな内容をもつ同時代資料や六国史などの編纂資料を活用して，様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 【思】・日本が律令体制や平城京などの都城の造営を急速に進めることを可能にした歴史的背景について，遣唐使などの外交使節を介した唐や朝鮮三国などの国際的関係に着目して多面的・多角的に考察し表現する力を身に付けている。 ・平安時代初期の遷都や征夷，あるいは密教文化が繁栄した歴史的背景について，社会の変化と政治・文化との関係などに着目して多面的・多角的に考察し表現する力を身に付けている。 【態】・平安時代初期の政治改革について見通しをもって学習を進め，これまで学んだ内容との関連において歴史理解を深めようとしている。
④	１摂関政治 ２地方政治の展開と武士	【知】・藤原北家の台頭と摂関政治の成立について，古記録や絵画資料など複数の資料を活用し，様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 ・摂関政治のもとでの受領による地方政治や負名体制などの土地支配の展開と武士の社会進出との関連について，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思】・摂関政治の発展と遣唐使の派遣の中止と国風文化の発展について，中国の唐から宋代にかけての東アジア世界の変動との関係などに着目して多面的・多角的に考察し表現する力を身に付けている。 【態】・摂関政治のもとにおける国政や外交政策の変化を，唐代から宋代における東アジア世界の激動との関係から追究し，国際理解を深めようとしている。
⑤	１院政のはじまり ２院政と平氏政権	【知】・摂関政治を終焉に導いた後三条天皇の親政，さらに摂関政治を包摂していく白河上皇以降の院政の下で，荘園公領制という中世社会を貫く土地制度が成立することを理解し，諸資料を活用して，様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 ・院政下の仏教保護により浄土教美術が地方に広がるとともに，強大化する寺社勢力の抑制，天皇家の内部抗争の武力的解決に大きな役割を果たした平清盛が，日宋貿易で獲得した莫大な経済力をもとに後白河法皇との関係を深め平氏政権を樹立していく過程について，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思】・摂関家から上皇さらに平氏へと権力主体が変遷していくとともに，朝廷政治や土地制度の変化，平氏政権の特色について多面的・多角的に考察したり，武家政権の成立を視野に入れて構想する力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それを基に議論したりする力を身に付けている。 【態】・院政期における外交や日宋貿易が院政期の政治や文化に与えた影響について，見通しをもって主体的に追求し，国際的視野に立って，諸事象に対する理解を深めようとしている。
⑥	１鎌倉幕府の成立 ２武士の社会 ３モンゴル襲来と幕府の衰退	【知】・源平の争乱から治承・寿永の内乱という全国規模となった争乱を鎮定した源頼朝が，守護・地頭などにより全国の軍事・警察機能を担う鎌倉幕府を創建したこと，鎌倉幕府の権力は土地を媒介として御恩と奉公からなる将軍と御家人の間の封建的主従制を基盤としていたこと，御家人の奉公は館を拠点とする所領支配，弓馬を中心とする日常的な武芸訓練，惣領制という一族結合によって実現されていたことなどについて，諸資料を活用して，様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 ・承久の乱以後朝廷に対して優位に立った鎌倉幕府内部では北条氏が台頭し，執権・連署・評定衆の設置と御成敗式目の制定より有力御家人による合議制が確立したこと，しかし蒙古襲来以後軍役負担の増大や分割相続の進展などにより惣領制が動揺したこと，さらに得宗専制体制の強化により合議制が衰退し御家人と得宗の御内人の対立が激化したことについて，諸資料を活用して，様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 【思】・中世国家の特質について，公武関係の変化，鎌倉幕府を支えた合議制・御家人制度，地頭の荘園公領の侵略，モンゴル襲来などの事象との関連において，多面的・多角的に考察したり，武家政権の成立を視野に入れて構想する力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それを基に議論したりする力を身に付けている。 【態】・鎌倉幕府の衰退・滅亡に拍車をかけたモンゴル襲来について，ユーラシア大陸に広大な版図をもつモンゴル帝国の支配構想，朝鮮における三別抄の乱やベトナムの抵抗などとの関連から見通しをもって主体的に追求し，国際的理解に立って，諸事象に対する理解を深めようとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
⑦	１室町幕府の成立 ２幕府の衰退と庶民の台頭 ３戦国大名の登場	【知】・室町幕府の成立と発展について，悪党を結集した後醍醐天皇や源氏の嫡流の足利尊氏らによって鎌倉幕府が滅亡したこと，公家と武家の上に立つ天皇専制を構想する建武新政が武士の支持を集め室町幕府を築いた足利尊氏によって崩壊したこと，長期の南北朝の内乱に終止符を打ち強大化した守護大名を抑えた足利義満によって朝廷に対しても実権を行使するなど室町幕府の支配は安定したことなどの諸事象を，諸資料を活用して，様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 ・室町時代の社会の変化について，惣掟や地下検断などにより惣村の自治を行うようになった農民や，農業生産力や手工業などの産業の発展と年貢の銭納化などの貨幣経済の発展により土倉など金融業者など庶民が台頭したこと，惣村の結合をもとに困窮した農民らによる土一揆や応仁の乱以後の内乱から地域の秩序を守るため国人層を中心として守護大名の支配に抗する国一揆や一向一揆が頻発したことなど諸事象を，諸資料を活用して，様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 ・寄親寄子制による家臣団の掌握，貫高制・差出検地による軍役の賦課，喧嘩両成敗などからなる分国法などの特徴をもつ戦国大名の支配の性格を，守護大名の支配と比較するなど，諸資料を活用して，様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 【思】・惣村の成立，農業・諸産業および貨幣の普及などの社会・経済の変化とその影響，倭寇の活動とそれに対する明の海禁政策の展開による東アジアの国際情勢の変化とその影響，戦国時代における地域の多様性と都市の発展の中で経済力を強めた町衆と文化の関係などに着目して課題を設定し，室町時代の国家・社会の変容に関連して，事象の意味や意義，関係などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などについて根拠を示して表現する力を身に付けている 【態】・室町時代には東アジア世界における倭寇の活発な活動の中で，足利義満が朝貢貿易の利益と日本国王の地位獲得のために明と冊封関係を結び，対馬の宗氏を介して朝鮮と国交・貿易関係結んだこと，日本とは異なる歴史を歩んだ琉球王国や和人が南部に新出した蝦夷地との交流がさかんになったことなどについて，他国や他文化に対する理解を深めるとともに，国境を越える交流の発展と国際秩序の安定と平和がもたらす豊かな内容に対する理解を深めようとしている。
⑧	１織豊政権	【知】・織豊政権の成立とその歴史的意義に関連して，15 世紀からヨーロッパで始まった大航海時代の波の中スペイン・ポルトガルの南蛮貿易によって日本に伝来した鉄砲・キリスト教，織田信長による延暦寺や一向一揆などの宗教勢力の屈服，全国統一後の豊臣秀吉による太閤検地・刀狩令による兵農分離政策，バテレン追放令・海賊取締令・朝鮮出兵などの外交政策などの諸事象がどのような意味をもつのかについて，諸資料を活用して，様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 【思】・織豊政権時代における中国や朝鮮などのアジア各地や，ポルトガル・スペインとの交流の影響などに着目して，国家や社会の変容について多面的・多角的に考察し，表現する力を身に付けている。 【態】・織豊政権が江戸時代の幕藩体制につながる「近世の幕開け」と位置づけられていることについて，太閤検地・刀狩令が社会に与えた影響とその変化に着目して，見通しをもって主体的に学習に取り組み，これまで学んだ内容との関連において歴史理解を深めようとしている。 ・豊臣政権による朝鮮出兵が東アジアにおけるどのような国際秩序と関連していたのか，朝鮮出兵が外交関係や日本の文化に与えた影響に着目し，国際理解を深めようとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
⑨	1 幕藩体制の成立 2 幕藩社会の構造 3 幕政の安定 4 経済の発展	【知】・関ヶ原の戦いや大坂の役後に天下支配を確立した江戸幕府による，大名・朝廷・寺社の統制，キリスト教の禁止，中国・オランダ・朝鮮以外の外交・貿易関係の停止などの諸施策を強力に実効し得た背景について，江戸幕府の経済・財政基盤，直臣掌握，支配機構の特色と関連させ，諸資料から適切かつ効果的に読み取る技能を身に付けている。 ・幕藩と藩による社会の掌握・支配の特質について，村は農民の場合自作農の本百姓小作の水呑，隷属民の名子などに分化し，血縁による本家・分家の序列があり，また村は職人・僧侶・神職を含むなど複雑な構成をもっていたこと，都市は身分ごとに居住区域が分けられていたが，町人地に居住する商人・諸職人は職種ごとに仲間などの多数の小集団をつくり複雑な構造をもっていたこと，村では村方三役を中心とする自治が，都市の町人地では有力町人による自治が行われていたことなどと関連させ，諸資料から適切かつ効果的に読み取る技能を身に付けている。 ・儒教思想・機構・法による支配をめざす幕府や諸藩の文治政治が成立した背景について，4 代将軍時代における慶安の変後の末期養子の禁の緩和・殉死の禁止・かぶき者対策，5 代将軍時代における儒教・仏教・神道に基づく諸政策，6・7 代将軍時代における儒教にもとづく諸政策，諸藩における儒家を重用する政治と関連させ，諸資料から適切かつ効果的に読み取る技能を身に付けている。 ・17 世紀後半以降 1 世紀の間に小経営を基礎とする農業や手工業を中心に諸産業の生産力が著しく発展し，全国を結ぶ陸上・水上の交通網や金融制度が整備され，これらを基盤として近世の経済が成熟を遂げたことについて，全国を支配する幕府が所在する政治的都市であり 100 万人もの人口をかかえ最大の消費都市でもある江戸，全国の物資の生産地であり江戸など全国に大量の商品を供給する大商業都市として栄えた大坂，大商人の本拠地が多く存在し高度な技術による手工業生産が発達した京都などの諸事象との関連で，諸資料から適切かつ効果的に読み取る技能を身に付けている。 【思】・農業では近世前期の内に全国の耕地は約 2 倍に拡大し年貢に充てる米以外にも多様な商品作物の生産が発展した背景について，山村では諸藩が直轄する山林の木材が民間にも払い下げられたこと，手工業・鉱山業が発達して村々を回る鍛冶職人があらわれ，掘削・測量・排水の技術が発達したこと，漁村では網猟による干鰯・メ粕の生産が発達したことなど着目して，諸事象を多角的・多面的に考察するとともに，考察・構想したことを効果的に表現する力を身に付けている ・幕藩体制社会における身分制のもつ歴史的意義について，支配身分の武士，被支配身分で手工業者の職人，商業・金融・交通・運輸を担う商人らは都市に居住させられたこと，同じく被支配身分で農業・林業・漁業に従事する百姓は村に居住させられたこと，賤民身分で皮革生産に従事するとともに死馬牛処理や行刑役を強いられたかわたや，同じく賤民身分で村や町で番人をつとめ芸能・掃除・物乞いにたずさわる非人らは都市や農村の周縁のかわた町・村に居住させられたことなどから，諸事象を多面的・多角的に考察するとともに，考察・構想したことを効果的に表現したりする力を身に付けている。 【態】・江戸幕府による鎖国政策の歴史的意義について，「鎖国」がドイツ人ケンペルによる用語だったこと，アイヌに対する窓口だった松前，朝鮮に対する窓口だった対馬，オランダ・中国に対する窓口だった長崎，琉球に対する窓口だった薩摩の四口が存在したことの諸事象との関連で，主体的に主題に取り組み，現代社会への影響も含め広い視野から理解しようとする態度を身に付けている。 ・5 代将軍時代の仏教思想にもとづく生類憐みの令や神道思想にもとづく服忌令が当時の社会や後の時代に与えた影響について，社会不安の要因となっていたかぶき者による食犬行為の横行など戦国時代の遺風，当時の死穢や血の穢れを忌避する慣習，現代に残る忌引きの慣行などの諸事象に基づいて，主体的に主題に取り組み，現代社会への影響も含め広い視野から理解しようとする態度を身に付けている。 ・近世初めにおける鉱山業の変遷と世界の動勢との関連について，17 世紀初めまでは朝鮮伝来の灰吹法の導入により銀の生産が増大し，日本は世界有数の銀産出国・輸出国になったこと，17 世紀中葉には銀に代わって小判が輸出されるようになったこと，砂鉄の採集よるたたら製鉄が展開すると玉鋼の輸出が増大したことなどの事象に基づいて，主体的に主題に取り組み，これまで学習してきたことを振り返り，国際的な視野から理解しようとする態度を身に付けている。 ・人びとの職分や上下の身分秩序を重んじる儒学のうち特に朱子学が興隆したこと，儒学が新井白石の時代区分論，自然科学の農学・本草学・医学などの諸学問に影響を与えたことの理由ついて，朱子学以外の陽明学・古学の言説や新井白石の歴史哲学や自然科学の実用的な諸事象に基づいて，主体的に主題に取り組み，後代に与えた影響を含め広い視野から理解しようとする態度を身に付けている。

「５年　世界史探究」

使用教材　　『世界史探究』（東京書籍）　『最新世界史図説タペストリー』（帝国書院）　『ウィニングコンパス世界史の整理と演習 2024』（東京法令出版）

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	**【思】思考力・判断力・表現力**	**【態】主体的に学習に取り組む態度**
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の暦の大きな枠組みと展開に関わる諸事象の意味や意義，特色などを時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

年間の学習内容

「世界史探究」	①	**世界史へのまなざし**
	②	**諸地域の歴史的特質「諸地域の歴史的特質への問い」**
	③	古代文明の出現
	④	西アジアと地中海周辺
	⑤	南アジア
	⑥	東南アジア
	⑦	東アジアと中央ユーラシア
	⑧	アフリカ，オセアニア，古アメリカ
	⑨	イスラーム世界の拡大と繁栄
	⑩	中世ヨーロッパ
	⑪	中華世界の変容とモンゴル帝国
	⑫	インド洋海域世界の発展と東南アジア
	⑬	大交易時代と世界の一体化
	⑭	ユーラシア諸帝国の繁栄
	⑮	主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大

学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	1　茶と世界史 2　地球と人類の誕生	【知】・衣食住，家族，教育，余暇などの身の回りの諸事象を基に，私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に，人類の歴史と地球環境との関わりについて理解している。 【思】・諸事象の来歴や変化に着目して，主題を設定し，身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を考察し，表現している。 ・諸事象を捉えるための時間の尺度や，諸事象の空間的な広がりに着目し，主題を設定し，地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し，表現している。 【態】日常生活から見る世界の歴史や，地球環境から見る人類の歴史について，課題意識や学習への見通しをもち，主体的に学習に取り組もうとしている。
②		【知】王権と身分・階級，生活と生業，宗教，文化・思想などに関する諸資料を活用し，情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。 【思】文明の形成に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などに着目して，諸地域の歴史的特質を読み解く観点について多面的・多角的に考察し，問いを表現している。 【態】諸地域の歴史的特質について，課題意識や学習への見通しをもち，主体的に学習に取り組もうとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
③	1　農業と気候 2　古代オリエントとエーゲ海地域 3　南アジアの古代文明 4　東アジアにめばえた文明	【知】オリエント文明，インダス文明，中華文明などを基に，古代文明の歴史的特質を理解している。 【思】古代文明に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，自然環境と生活や文化との関連性，農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】「古代文明の出現」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。
④	1　古代オリエントの統一 2　古代ギリシアとヘレニズム世界 3　ローマ帝国と地中海世界 4　古代末期の社会と地中海世界の解体 5　地中海世界とアジア 6　イスラーム世界の成立 7　中世初期の東西ヨーロッパ	【知】古代ギリシアとヘレニズム世界について，諸資料から読み取り，理解している。 【思】アテネの民主政と現代の民主政にはどのようなちがいがあるのかについて多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】「西アジアと地中海周辺」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。
⑤	1　南アジアにおける国家形成 2　インド世界の形成	【知】仏教の成立とヒンドゥー教，南アジアの諸国家などを基に，南アジアの歴史的特質を理解している。 【思】南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，南アジアにおける宗教や文化の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】「南アジア」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。
⑥	1　海の道の形成と東南アジア 2　東南アジア諸国家の再編成	【知】海の道や東南アジアの諸国家を基に，東南アジアの歴史的特質を理解している。 【思】東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，東南アジアにおける宗教や文化の特色，周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】「東南アジア」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。
⑦	1　古代帝国の誕生 2　中国の分裂と多様化 3　隋唐帝国と東アジア 4　草原地帯のトルコ化とイスラーム化	【知】秦・漢と遊牧国家，唐と近隣諸国の動向などを基に，東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。 【思】東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，唐の統治体制と社会や文化の特色，唐と近隣諸国との関係，遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】「東アジアと中央ユーラシア」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。
⑧	1　アフリカ 2　オセアニア 3　古アメリカ	【知】自然環境との関わりなどを基に，ユーラシア大陸以外の地域に成立した文明の特徴を理解している。 【思】アフリカ，オセアニア，古アメリカの歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，ユーラシア大陸以外の地域に成立した文明の特徴を多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】ユーラシア大陸以外の地域に成立した文明の特徴について，自然環境との関わりに注目しながら，学習への見通しをもち，主体的に学習に取り組もうとしている。
⑨	1　イスラーム世界の発展 2　イスラーム文明	【知】西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播などを基に，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 【思】諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，諸地域へのイスラームの拡大の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】「イスラーム世界の拡大と繁栄」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。
⑩	1　中世ヨーロッパ社会の展開 2　中世西ヨーロッパ社会の成熟 3　中世西ヨーロッパの文化 4　中世ヨーロッパ社会の再編 5　ルネサンス	【知】ヨーロッパ封建社会とその展開などを基に，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 【思】諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】「中世ヨーロッパ」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
⑪	1　唐の崩壊後の東アジア 2　宋代の新展開 3　モンゴル帝国 4　元の成立	【知】宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 【思】諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】「中華世界の変容とモンゴル帝国」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。
⑫	1　イスラームのインドとインド洋海域への浸透 2 海と陸の結合 ―― 東南アジア世界の発展	【知】インド洋海域世界と東南アジアの発展などを基に，諸地域の交易の進展を構造的に理解している。 【思】諸地域の交易に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，インド洋海域世界と東南アジアの発展などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】「インド洋海域世界の発展と東南アジア」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。
⑬	1　アジア交易圏の再編と活況 2　ポルトガルのアジア進出 3　明と日本・朝鮮の動向 4　一体化に向かう世界 5　大交易時代の世界	【知】大交易時代のヨーロッパ社会と世界の一体化について概念的に理解している。 【思】大交易時代のヨーロッパ社会と世界の一体化について主題を設定して考察し，表現している。 【態】「大交易時代と世界の一体化」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。
⑭	1　中央アジアと西アジアの繁栄 2　インドの大帝国 3　清と東アジア	【知】16 世紀から 18 世紀にかけてのアジアの諸帝国について概念的に理解している。 【思】16 世紀から 18 世紀にかけてのアジアの諸帝国について主題を設定して考察し，表現している。 【態】「ユーラシア諸帝国の繁栄」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。
⑮	1　主権国家群の形成と宗教改革 2　オランダの繁栄と英仏の国家形成 3　商業覇権と植民地建設 4　啓蒙専制国家の発展 5　近世ヨーロッパの社会と文化	【知】地球規模での交易の拡大について概念的に理解している。 【思】地球規模での交易の拡大について，主題を設定して考察し，表現している。 【態】地球規模での交易の拡大についての自らの学習を振り返り，学びを深めている。

「５年　公共」

使用教材　　詳述公共（実教出版），2025 ズームアップ公共資料（実教出版），詳述公共マイノート新課程版（実教出版）

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

年間の学習内容

「公共」	①	社会を作る私たち
	②	人間としてよく生きる
	③	民主社会の倫理
	④	民主国家における基本原理
	⑤	日本国憲法の基本的性格
	⑥	日本の政治機構と政治参加
	⑦	現代の経済社会
	⑧	経済活動のあり方と国民福祉
	⑨	国際政治の動向と課題
	⑩	国際経済の動向と課題

学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元（教材名）	評価基準・評価方法
		【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	社会を作る私たち	【知】・自らの体験などを振り返ることを通して，自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 ・人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して，自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 ・自分自身が，自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが，自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。 【思】社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などの様々な集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
②	人間としてよく生きる	【知】・人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して，自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 ・選択・判断の手掛かりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 ・現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して，行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが，よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から，よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。 【思】倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。
③	民主社会の倫理	【知】・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して，人間の尊厳と平等，協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが，公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 ・人間の尊厳と平等，個人の尊重，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思】・公共的な空間における基本的原理について，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。
④	民主国家における基本原理	【知】・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して，人間の尊厳と平等，協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが，公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 ・個人の尊重，民主主義，法の支配など，公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思】公共的な空間における基本的原理について，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。
⑤	日本国憲法の基本的性格	【知】・法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解している。 ・我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるようにするとともに，我が国の防衛に関する基本的な事柄にも触れながら，変化する国際情勢の中で，我が国の安全が世界の平和の維持といかに不可分に関連しているかについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 【思】自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，法や規範の意義及び役割，我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
⑥	日本の政治機構と政治参加	【知】・司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解している。 ・政治参加と公正な世論の形成，地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，よりよい社会は，憲法の下，個人が議論に参加し，意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 【思】自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，司法参加の意義，政治参加と公正な世論の形成，地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
⑦	現代の経済社会	【知】・雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 【思】自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
⑧	経済活動のあり方と国民福祉	【知】・多様な契約及び消費者の権利と責任，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 【思】自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，多様な契約及び消費者の権利と責任，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
⑨	国際政治の動向と課題	【知】・国家主権，領土（領海，領空を含む。），我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり，国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 【思】自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，国家主権，領土（領海，領空を含む。），我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
⑩	国際経済の動向と課題	【知】・経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，世界経済がより緊密に結び付き，経済活動が世界的な規模で自由に行われていること，一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど，国際社会において相互依存関係が一層深まっていること，国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 【思】自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

「６年　政治経済（必修）」２単位

使用教材　　詳述政治・経済（実教出版）　　最新図説　政治経済（浜島書店）

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	**【思】思考力・判断力・表現力**	**【態】主体的に学習に取り組む態度**
・経済活動と市場，経済主体と経済循環，国民経済の大きさと経済成長，物価と景気変動，財政の働きと仕組み及び租税などの意義, 金融の働きと仕組み, 国際経済について，現実社会の諸事象を通して理解している。 ・貿易の現状と意義，為替相場の変動，国民経済と国際収支，国際協調の必要性や国際経済機関の役割について，現実社会の諸事象を通して理解している。	・経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し，表現している。 ・市場経済の機能と限界，持続可能な財政及び租税の在り方，金融を通した経済活動の活性化について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ・相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し，表現している。	・国民主権を担う公民として，現代日本の諸課題に対する意識を強く持ち，課題にかかわる知識を主体的に深めたり，課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら，現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。

年間の学習内容

政治経済（必修）	①	**現代の経済社会**
	②	現代の日本経済と福祉の向上
	③	国際経済理論
	④	国際経済の動向と課題

学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元（教材名）	評価基準・評価方法
		【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	**経済活動の意義**	【知】生産・分配・消費，希少性，トレードオフ，機会費用など，経済の根本的な概念について理解している。 【思】資源の効率的な配分について，効率性と公平性の観点から多面的に考察している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，経済的な効率性と公平性の関係について学習したことを社会生活に生かそうとしている。
	経済社会の変容	【知】資本主義経済の成立と展開，経済における政府の役割の変化について理解している。 【思】資本主義経済の成立以降，経済社会がどのように展開していったか，政府の役割の変化と関連させて考察している。 【態】資本主義経済と社会主義経済の特徴について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。
	経済主体と市場の働き	【知】希少な資源の効率的配分をもたらす市場機構や，寡占や独占，外部不経済，情報の非対称性など市場機能の限界について理解している。 【思】市場経済における生産要素の効率的な配分や，政府の適切な施策について多面的・多角的に考察・構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【態】市場メカニズムの働きや市場の限界について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。
	企業の役割	【知】自身が興味関心をもっている会社情報を信頼性の高い情報源から収集し，適切に整理することができている。 【思】企業が従業員をはじめ，消費者や地域社会などに対してどのような責任を果たすべきか，協働的に考察・構想し，適切に表現している。 【態】企業の社会的責任や法令順守の姿勢について主体的に追究して，企業の不祥事が相次いでいる現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
	国民所得	【知】NI の生産・分配・支出のそれぞれの内容とともに，3 つが理論的に同額になることを理解している。 【思】景気変動による私たちの生活と企業の成長への影響や，政府による景気安定化政策について多面的・多角的に考察し・構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【態】経済成長による経済的な豊かさと幸福について，数値化することが困難な経済活動や生活の諸行動をどのように評価するべきかという観点から，主体的に考えを導きだそうとしている。
	経済成長と国民の福祉	【知】現在においては，GDP などの経済指標では計りきれない福祉的側面からの指標や環境的側面からの指標，社会的側面からの指標などがあることを理解している。 【思】景気変動による私たちの生活と企業の成長への影響や，政府による景気安定化政策について多面的・多角的に考察し・構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【態】経済成長による経済的な豊かさと幸福について，数値化することが困難な経済活動や生活の諸行動をどのように評価するべきかという観点から，主体的に考えを導きだそうとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法
		【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
	金融の役割	【知】金融は，信用創造等により，家計や企業からの資金を様々な経済主体に投資することで資本を増加させ，生産性を高め，社会を豊かに発展させる役割を担っていることを理解している。 【思】景気のそれぞれの局面に対処するため，日本銀行がどのような政策をとっているか，企業との関係も含めて多面的・多角的に考察，構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【態】金融技術の革新について主体的に追究して，それらをよりよい社会の実現を視野にしながら生かそうとしている。
	日本銀行の役割	【知】財政に求められる機能について理解している。 【思】一般会計の歳入・歳出について，一部項目が大きく増加した背景を考察し，適切に表現している。 【態】公平な税負担について，主体的に考えを導きだそうとしている。
	財政の役割と租税	【知】日本の財政の現状と課題について，内容理解や複数資料の読み取りを通じて理解している。 【思】プライマリーバランスの改善や債務残高の減少に資する方策について，多面的・多角的に考察し，論拠をもって表現している。 【態】日本の財政の現状と課題を理解したうえで，財政再建について興味関心をもち，歳出減と歳入増の両面から再建のための方策を積極的に追究しながら，「財政健全化のあり方」を探究するための意欲を高めている。
	日本の財政の課題	【知】日本の財政の現状と課題について，内容理解や複数資料の読み取りを通じて理解している。 【思】プライマリーバランスの改善や債務残高の減少に資する方策について，多面的・多角的に考察し，論拠をもって表現している。 【態】日本の財政の現状と課題を理解したうえで，財政再建について興味関心をもち，歳出減と歳入増の両面から再建のための方策を積極的に追究しながら，「財政健全化のあり方」を探究するための意欲を高めている。
②	**日本経済の成長と課題**	【知】戦後復興，高度経済成長，バブル経済の発生と崩壊などの背景や要因について理解している。 【思】2000 年代以降，景気が拡大しても経済成長率が伸び悩んでいる理由について，多面的・多角的に考察している。 【態】今後の日本経済がどのような豊かさを目指していくべきかについて主体的に追究して，よりよい社会の実現を視野に学習したことを社会生活に生かそうとしている。
	中小企業と農業	【知】・中小企業が日本経済の発展に寄与してきた役割について理解している。 ・農業法人による大規模化や 6 次産業の進展，スマート農業の振興など，日本の農業の新しい流れについて理解している。 【思】・日本経済における中小企業の構造的な課題について，大企業との関係や国際化の観点から多面的・多角的に考察している。 ・持続可能な農業への取り組みと消費者とのかかわりについて多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】・中小企業をめぐる現状を理解したうえで，ベンチャー企業のあり方について興味関心をもち，「起業」について探究するための意欲を高めている。 ・農業をめぐる現状と課題を理解したうえで，これからの日本の農業について興味関心をもち，「持続可能な農業のあり方」を探究するための意欲を高めている。
	消費者問題	【知】契約の効力が発生する要件や，消費者契約法に定められている契約取り消しの意義などについて理解している。 【思】消費社会の拡大や過度な宣伝等について問いを見出し，消費者主権や消費者の権利の観点などから協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 【態】消費者の自立と自己責任について関心を深め，消費者の権利と責任に関する課題を意欲的に解決しようとしている。
	公害防止と環境保全	【知】政府による公害対策や環境保全のための法整備について理解している。 【思】環境保全と経済活動の両立について協働的に考察したうえで選択・判断し，それらを適切に表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，循環型社会の実現に向けた諸施策など学習したことを，社会生活に生かそうとしている。
	労働問題と労働者の権利	【知】職場における不当な差別的扱いがあってはならず，そのための法整備と対策が急がれることを理解している。 【思】どうすれば職場における不当な差別的取り扱いが解消できるのか，多面的に考察している。 【態】日本の労働をめぐる現状と課題を理解したうえで，諸外国の労働環境やこれからの日本の労働環境について興味関心をもち，「日本におけるワーク・ライフ・バランス」を探究するための意欲を高めている。
	こんにちの労働問題	【知】具体的な労働問題について，理解している。 【思】非正規雇用の労働者が置かれている厳しい状況について，権利の保障や保護の観点から課題と解消のための政策を協働的に考察・構想し，それを適切に表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，ワーキングプアの解消やワーク・ライフ・バランスの実現を目指して，学習した内容を社会生活に生かそうとしている。
	社会保障の役割と課題	【知】社会保障の考え方を知り，それらが歴史的にどのように制度化されてきたかについて理解している。 【思】日本の社会保障制度の現状と課題について，多面的・多角的な観点（少子高齢化，年金制度，負担と給付のバランス）に立ちながら考察し，適切に表現している。 【態】安心して暮らせる豊かな社会について主体的に追究して，社会保障を社会の中で有効に働かせるための課題を意欲的に解決しようとしている。
③	貿易と国際収支	【知】国際収支の考え方や，円高・円安が日本経済に与える影響を理解している。 【思】自由貿易が世界全体の発展に寄与するという仮説が適切かどうか，協働的に考察し，それを表現している。 【態】円高や円安が輸出・輸入価格に影響することを踏まえて，円相場の変動にあわせて輸入品や外国株式の購入時期を検討しようとするなど，社会生活に生かそうとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法
		【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
	第二次世界大戦後の国際経済	【知】固定為替相場制から変動為替相場制へと移行した歴史的な経過について理解している。 【思】公正な国際貿易体制とはどのようなものか，協働的に考察し，それらを適切に表現している。 【態】WTO が国際経済体制に果たす役割について主体的に追究し，ドーハラウンドが抱えている課題を意欲的に解決しようとしている。
④	国際経済の動向	【知】FTA や EPA がどのようなものであるのかについてを理解している。 【思】EU の統合について課題を見出し，各国の経済的格差の課題などについて協働的に考察し，適切に表現している。 【態】EU の統合について主体的に追究し，そのなかで生じたイギリスの離脱に見られるように経済統合のひずみをどのように解消するかを意欲的に検討している。
	新興国の台頭	【知】新興国の中でも，とくに中国とインドが世界的な影響力を強めていることを理解している。 【思】地域的経済統合がもつメリットとデメリットについて，自由と公正の観点から協働的に考察し，適切に表現している。 【態】TPP11 や RCEP について主体的に追究し，今後の日本が各国との貿易においてどのように主導的な役割を果たしていくべきか，意欲的に検討しようとしている。
	経済のグローバル化と ICT でかわる世界経済	【知】グローバル化した世界において，多国籍企業の存在が大きくなっていることを理解している。 【思】共生の課題について，経済移民を労働力ではなく「生活人」として擁護するためにはどうすればよいか，協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 【態】国際的な資本取引に対する金融規制について主体的に追究し，OECD における議論などを参考にしながら意欲的に解決しようとしている。
	発展途上国の課題と展望	【知】南北問題について，その背景と現状について理解している。 【思】モノカルチャー経済に依存する経済上の問題について多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に貧困を解消するための具体的な行動について積極的に考察し，社会生活に生かそうとしている。
	地球環境問題，資源エネルギー問題	【知】化石燃料と再生可能エネルギーの特徴について，それぞれ理解している。 【思】調べて整理したパリ協定にもとづく各国の二酸化炭素削減目標を踏まえながら，日本がその目標を達成・実現するための手段について協働的に考察し，適切に表現している。 【態】地球温暖化や資源エネルギーをめぐる現状を理解したうえで，脱炭素社会の形成について興味関心をもち，「地球環境問題，資源エネルギー問題を探究するための意欲を高めている。
	経済協力と日本の役割	【知】先進国による援助の中心として ODA が行われてきたことを理解している。 【思】日本の ODA の特徴と課題はどのようなものか，資金の用途や貸与方式などの観点から協働的に考察し，適切に表現している。 【態】国際社会における貧困と格差の解消について主体的に追究し，JICA による支援活動などについても興味を持ち，それらの課題を意欲的に解決しようとしている。

「６年　日本史探究演習」６単位

使用教材　　詳説日本史　日本史探究（山川出版社）　　詳説日本史探究（浜島書店）　　日本史１０分間テスト（山川出版社））

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を身に付けているとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

年間の学習内容

論理国語	①	幕藩体制の動揺
	②	近世から近代へ
	③	近代国家の成立
	④	近代国家の展開
	⑤	近代の産業と生活
	⑥	恐慌と第二次世界大戦
	⑦	占領下の日本
	⑧	高度成長の時代
	⑨	激動する世界と日本

学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	1　幕政の改革 2　宝暦・天明期の文化 3　幕府の衰退と近代への道	【知】・幕府・諸藩の経済的窮乏，百姓一揆・打ちこわしの頻発などに関する諸資料から情報を読み取り，享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について理解している。 ・幕藩体制下の社会の変容に着目して，宝暦・天明期における新たな学問の確立，各地に設立された教育機関の展開を理解している。 ・列強の接近にともなう事件や幕政改革に関する諸資料から情報を読み取り，幕府権力が衰退する一方で工場制手工業など近代の萌芽がみられ，雄藩が出現する過程を理解している。 ・政治と経済と文化の関係などに着目して，19 世紀初期の経済の動向や江戸を中心とする庶民文化の形成について理解している。 【思】・商品作物の栽培や貨幣経済の浸透により，米作を基盤とする幕藩体制が動揺する過程を踏まえ，飢饉や一揆の発生が幕藩体制に与えた影響を考察し，表現している。 ・幕藩体制の動揺と文化の展開との関連性について，諸資料から読み取れる情報をもとに多面的・多角的に考察し，表現している。 ・国際情勢の変化と影響などに着目して，幕府政治の動揺と諸藩の動向について多面的・多角的に考察し，根拠を明らかにして表現している。 ・近世の前半と後半を比較し，文化への影響力をもつ地域や担い手の変化をもたらした原因について多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】・幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や，幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し，主体的に追究しようとしている。 ・政治と経済と文化の関係に着目して，宝暦・天明期における文化の展開について課題を見出し，主体的に追究しようとしている。 ・飢饉や一揆への対応，外交政策の転換などについて，幕府や諸藩の課題を見出し，主体的に追究しようとしている。 ・近世後期に形成された文化と近代以降の文化との関係性について，学問・教育・出版文化や庶民文化を事例としてつながりを見出そうとしている。
②	1　開国と幕末の動乱 2　幕府の滅亡と新政府の発足	【知】・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り，江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 ・政治と経済の変化と思想への影響などに着目して，諸資料から適切に情報を読み取り，幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。 【思】・日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ，政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・日本がどのような契機によって近代的な社会の形成に向かっていくことになるのか，近代の特色を探究するための時代を通観する問いを表現している。 【態】・日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し，開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。 ・幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて，近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
③	1　明治維新と富国強兵 2　立憲国家の成立	【知】・明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉，欧米・アジア諸地域との国際関係，文明開化の風潮について，諸資料から情報を読み取って理解している。 ・諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して，自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。 【思】・諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較，欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・国内体制を欧米の水準に合わせることが改革の前提にあったことを踏まえ，社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】・明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や，歴史の展開における画期についての課題を見出し，主体的に追究しようとしている。 ・自由民権運動の展開過程を考察したうえで，日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。
④	1　日清・日露戦争と国際関係 2　第一次世界大戦と日本 3　ワシントン体制	【知】・日清と日露戦争の前後における条約改正の完成，韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り，この時期の戦争の様相や背景，日本の国際的地位の変化を理解している。 ・第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して，大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り，理解している。 ・ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し，国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解している。 【思】・議会が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと，戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し，根拠を明らかにして表現している。 ・大戦中の日本の動向を踏まえ，中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ，国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】・対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し，主体的に追究しようとしている。 ・対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに，次の学習へのつながりを見出そうとしている。 ・東アジア・太平洋地域における国際協調体制の特質を考察することを通じて，当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。
⑤	1　近代産業の発展 2　近代文化の発達 3　市民生活の変容と大衆文化	【知】・産業の発達の背景と影響などに着目し，諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り，地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。 ・国家主義的な思想の形成，実証的な学問研究，欧米の科学技術の導入，教育の普及・拡充について，諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 ・学問や芸術・出版・マスメディアの発展について諸資料から情報を読み取り，欧米文化との関わりとその浸透度，社会風潮との関連を理解している。 【思】・地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや，労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し，表現している。 ・学校教育の必要性の説かれ方や，学校教育の内容と地域社会の変容，国民意識との関係について，近代文化の形成を踏まえて考察し，表現している。 ・都市の発達，鉄道・駅の設置やその影響，工場の増加や生活の変化など，地域社会の変容について多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】・産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し，自ら主体的に追究しようとしている。 ・明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて，明治文化の特色を主体的に追究しようとしている。 ・マスメディアや出版の発達によって誕生した大衆社会が生み出す課題について，自ら主体的に追究しようとしている。
⑥	1　恐慌の時代 2　軍部の台頭 3　第二次世界大戦	【知】・国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して，日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り，恐慌と国際関係について理解している。 ・政治と経済体制の変化に着目して，満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り，軍部の台頭と対外政策について理解している。 ・戦争の推移と国民生活への影響などに着目して，戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り，戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。 【思】・ワシントン体制下の協調外交が，中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し，根拠を明確にして表現している。 ・当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策，国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し，表現している。 ・戦争がアメリカやイギリスなどとの戦争に拡大した理由や，日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し，根拠を示して表現している。 【態】・当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり，様々な人々の議論について考察したりして，課題を主体的に追究しようとしている。 ・満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて，軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。 ・日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて，第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
⑦	1　占領と改革 2　冷戦の開始と講和	【知】・第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して，戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り，占領政策と諸改革について理解している。 ・占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関わる諸資料から情報を読み取り，サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。 【思】・戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに，戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・地域社会の変容にも留意しながら，占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察し，その結果を根拠を明確にして表現している。 【態】・現代の日本との関係性を踏まえながら，占領期における諸改革が生み出した成果と課題について，主体的に追究しようとしている。 ・連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて，戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか，主体的に課題を追究しようとしている。
⑧	1　55 年体制 2　経済復興から高度経済成長へ	【知】・保守合同による自由民主党の成立から，経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り，外交・政治・経済を踏まえて理解している。 ・冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して，戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から情報を読み取っている。 【思】・日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟，新安保条約・ＬＴ貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し，表現している。 ・日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり，様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして，その結果を表現している。 【態】・55 年体制の歴史的意義や，1960 年代における保守政権の安定化を考察することを通じて，独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。 ・高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに，次の学習へのつながりを見出そうとしている。
⑨	1　経済大国への道 2　冷戦の終結と日本社会の変容	【知】・ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方，日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。 ・冷戦終結後の国際関係，55 年体制が崩壊した政治状況，バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 【思】・日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し，その結果を表現している。 ・国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など，冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し，その結果を表現している。 【態】・第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて，課題を主体的に追究しようとしている。 ・冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか，自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。

「６年　世界史探究演習」６単位

使用教材　『世界史探究』（東京書籍）　『最新世界史図説タペストリー』（帝国書院）　『ウィニングコンパス世界史の整理と演習 2024』（東京法令出版）
『詳説世界史 10 分間テスト世界史探究』（山川出版社）　『東書の世界史 B 入試対策問題集』

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の暦の大きな枠組みと展開に関わる諸事象の意味や意義，特色などを時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

年間の学習内容

「世界史探究演習」	①	国民国家と近代社会の形成
	②	世界市場の形成とアジア諸国の変容
	③	アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行
	④	第一次世界大戦の展開と諸地域の変容
	⑤	国際協調体制の動揺と第二次世界大戦
	⑥	第二次世界大戦と戦後の東アジア
	⑦	冷戦の世界化と国際制度
	⑧	冷戦の変容・終結と経済のグローバル化
	⑨	21 世紀の地球的課題と人類社会

学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	1　産業革命と工業化 2　アメリカ合衆国とラテンアメリカ諸国の独立 3　フランス革命とウィーン体制 4　自由主義の台頭と新しい革命の波 5　19 世紀後半のヨーロッパ諸国 6　南北アメリカの発展	【知】産業革命と環大西洋革命，自由主義とナショナリズム，南北戦争の展開などを基に，国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。 【思】大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，産業革命や環大西洋革命の意味や意義，自由主義とナショナリズムの特徴，南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】「国民国家と近代社会の形成」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。
②	1　産業資本主義の世界への波及と欧米社会 2　西アジアの危機と改革のはじまり 3　南アジア・東南アジアの植民地化 4　清における開発の限界と二つのアヘン戦争	【知】国際的な分業体制と労働力の移動，イギリスを中心とした自由貿易体制，アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に，世界市場の形勢とアジア諸国の変容を構造的に理解している。 【思】世界市場の形成とアジア諸国の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，労働力の移動を促す要因，イギリスの覇権の特徴，アジア諸国の変容の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】「世界市場の形成とアジア諸国の変容」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。
③	1　列強の覇権争い 2　西アジア・中央アジアの変革 3　南アジア・東南アジアの民族運動 4　清の体制転換と近代国家建設の模索	【知】第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争，アジア諸国の変革などを基に，世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解している。 【思】列強の対外進出とアジア・アフリカの動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，世界経済の構造的な変化，列強の帝国主義政策の共通点と相違点，アジア諸国のナショナリズムの特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】「アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
④	1　第一次世界大戦 2　ヴェルサイユ体制と国際秩序の再編 3　大戦後のアメリカ合衆国とヨーロッパ 4　アジア・アフリカでの国家形成の動き	【知】第一次世界大戦とロシア革命，ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成，アメリカ合衆国の台頭，アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に，第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 【思】第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，第一次世界大戦後の国際協調主義の性格，アメリカ合衆国の台頭の要因，アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】「第一次世界大戦の展開と諸地域の変容」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。
⑤	1　世界恐慌と政治・経済の変容 2　国際協調体制の動揺 3　第二次世界大戦の開戦と展開 4　戦後秩序構想と冷戦の形成	【知】世界恐慌とファシズムの動向，ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺などを基に国際関係の緊張と対立を構造的に理解している。 【思】世界恐慌と国際協調体制の動揺に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点，ファシズムの特徴，第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】「国際協調体制の動揺と第二次世界大戦」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。
⑥	1　アジア・太平洋戦争と日本の敗戦 2　帝国の解体と分断国家の形成 3　アジア諸国の独立と脱植民地化 4　朝鮮戦争と東アジアの「冷戦」	【知】第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序，冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に，第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 【思】第二次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と大戦後の国際秩序との関連，アジア諸国の独立の地域的な特徴を多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】「第二次世界大戦と戦後の東アジア」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。
⑦	1　冷戦と政治・経済秩序 2　アジア・アフリカ諸国の独立と第三勢力 3　平和共存と社会主義圏の多極化	【知】集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，先進国の経済成長と南北問題，原子力の利用などを基に，紛争解決の取り組みと課題，格差の是正の取り組みと課題，知識基盤社会の展開と課題を理解している。 【思】国際機構の形成と紛争，国際競争の展開と経済格差，科学技術の高度化と知識基盤社会に関わる諸事象の歴史的背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，国際連盟と国際連合との共通点と相違点，先進国による経済援助や経済の成長が見られた地域の特徴，第二次世界大戦後の科学技術の高度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】「冷戦の世界化と国際制度」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。
⑧	1　アメリカ合衆国の覇権の動揺と冷戦の変容 2　冷戦の変容と世界の諸地域 3　冷戦の終結とその後の世界 4　アメリカ合衆国の復調とグローバル化	【知】冷戦の変容・終結と地域紛争の頻発，アメリカ合衆国の覇権の動揺，資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換，アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題，経済のグローバル化，原子力の利用などを基に，紛争解決の取り組みと課題，格差の是正の取り組みと課題，知識基盤社会の展開と課題を理解している。 【思】国際機構の形成と紛争，国際競争の展開と経済格差，科学技術の高度化と知識基盤社会に関わる諸事象の歴史的背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点，紛争と経済や社会の変化との関連性，諸地域間の経済格差や各国内の経済格差の特徴，経済格差と政治や社会の変化との関連性，科学技術の高度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】「冷戦の変容・終結と経済のグローバル化」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。
⑨	1　グローバル化にともなう世界の変容 2　地球的諸課題 3　新たな秩序変容	【知】地域紛争の頻発，経済のグローバル化，原子力の利用や宇宙探査などの科学技術，医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理，人工知能と労働の在り方の変容，情報通信技術の発達と知識の普及などを基に，紛争解決の取り組みと課題，格差の是正の取り組みと課題，知識基盤社会の展開と課題を理解している。 【思】国際機構の形成と紛争，国際競争の展開と経済格差，科学技術の高度化と知識基盤社会に関わる諸事象の歴史的背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，紛争と経済や社会の変化との関連性，経済格差と政治や社会の変化との関連性，現代の科学技術や文化の歴史的な特色，第二次世界大戦後の科学技術の高度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】「21 世紀の地球的課題と人類社会」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。

「６年　地理探究」４単位

使用教材　新詳 地理探究（帝国書院），新詳高等地図（帝国書院），新詳地理資料 COMPLETE2023（帝国書院），地理統計 PLUS2025 年度版（帝国書院）

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
・系統地理的分野に関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，地球環境問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 ・現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに，我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や，探究する手法などについて理解している。	・系統地理的分野に関わる諸事象について，場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・現代世界の諸地域について，地域の結びつき，構造や変容などに着目して，主題を設定し，地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・現代世界におけるこれからの日本の国土像について，地域の結びつき，構造や変容，持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し，表現している。	・系統地理的分野ににについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 ・現代世界の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 ・持続可能な国土像の探究について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。

年間の学習内容

地理探究	①	資源と産業
	②	人口，村落・都市
	③	生活文化，民族・宗教
	④	現代世界の諸地域
	⑤	持続可能な国土像の探究

学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	農林水産業 食料問題 エネルギー・鉱産資源 資源・エネルギー問題 工業	【知】資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，資源・エネルギー，食料問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思】資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】資源，産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
②	人口 人口問題 村落と都市 都市・居住問題	【知】人口，都市・村落などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，交通・通信，観光に関わる問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思】人口，都市・村落などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】人口，都市・村落などについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
③	衣食住 民族・宗教と民族問題 国家の領域と領土問題	【知】生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，民族，領土問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思】生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】生活文化，民族・宗教について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
④	アジア ＥＵ諸国 ロシア アメリカ合衆国 ラテンアメリカ オセアニア	【知】いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，地域の結びつき，構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。 【思】現代世界の諸地域について，地域の結びつき，構造や変容などに着目して，主題を設定し，地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】現代世界の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
⑤	将来の国土の在り方 持続可能な日本の国土像の探究	【知】現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに，我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や，探究する手法などについて理解している。 【思】現代世界におけるこれからの日本の国土像について，地域の結びつき，構造や変容，持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し，表現している。 【態】持続可能な国土像の探究について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。

「６年　地理探究演習」２単位

使用教材　新詳 地理探究（帝国書院），新詳高等地図（帝国書院），新詳地理資料 COMPLETE2023（帝国書院），地理統計 PLUS2025 年度版（帝国書院）

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
・系統地理的分野に関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，地球環境問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 ・現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに，我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や，探究する手法などについて理解している。	・系統地理的分野に関わる諸事象について，場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・現代世界の諸地域について，地域の結びつき，構造や変容などに着目して，主題を設定し，地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・現代世界におけるこれからの日本の国土像について，地域の結びつき，構造や変容，持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し，表現している。	・系統地理的分野にについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 ・現代世界の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 ・持続可能な国土像の探究について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。

年間の学習内容

地理探究演習	①	資源と産業
	②	人口，村落・都市
	③	現代世界の諸地域

学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	農林水産業 食料問題 エネルギー・鉱産資源 資源・エネルギー問題 工業	【知】資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，資源・エネルギー，食料問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思】資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】資源，産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
②	人口 人口問題 村落と都市 都市・居住問題	【知】人口，都市・村落などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，交通・通信，観光に関わる問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思】人口，都市・村落などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】人口，都市・村落などについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
③	アジア ＥＵ諸国 ロシア アメリカ合衆国 ラテンアメリカ オセアニア	【知】いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，地域の結びつき，構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。 【思】現代世界の諸地域について，地域の結びつき，構造や変容などに着目して，主題を設定し，地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】現代世界の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

「６年　政治経済（選択）」２単位

使用教材

使用教材　　詳述政治・経済（実教出版）　　最新図説　政治経済（浜島書店）　　2025 実戦攻略　公共・政治経済　大学入学共通テスト問題集（実教出版）

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
・政治と法の意義と機能，基本的人権の保障と法の支配，権利と義務との関係，議会制民主主義，地方自治について，現実社会の諸事象を通して理解している。 ・経済活動と市場，経済主体と経済循環，国民経済の大きさと経済成長，物価と景気変動，財政の働きと仕組み及び租税などの意義，金融の働きと仕組みについて，現実社会の諸事象を通して理解している。 ・国際社会の変遷，人権，国家主権，領土（領海，領空を含む）などに関する国際法の意義，国際連合をはじめとする国際機構の役割，我が国の安全保障と防衛，国際貢献について，現実社会の諸事象を通して理解している。 ・貿易の現状と意義，為替相場の変動，国民経済と国際収支，国際協調の必要性や国際経済機関の役割について，現実社会の諸事象を通して理解している。 ・現代の国際政治・経済に関する諸資料から，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。	・民主政治の本質を基に日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し，表現している。 ・政党政治や選挙などの観点から，望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ・経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し，表現している。 ・市場経済の機能と限界，持続可能な財政及び租税の在り方，金融を通した経済活動の活性化について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ・国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し，表現している。 ・国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。 ・相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し，表現している。 ・国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。	・国民主権を担う公民として，現代日本の諸課題に対する意識を強く持ち，課題にかかわる知識を主体的に深めたり，課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら，現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。 ・国際社会を担う一員として，現代の国際社会における諸課題に対する意識を強く持ち，課題にかかわる知識を主体的に深めたり，課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら，現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。

年間の学習内容

論理国語	①	現代日本の政治
	②	現代日本の経済
	③	現代の国際政治
	④	現代の国際社会

学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	民主政治と法	【知】政治と国家，政府が何であるかを理解している法の意義と役割のほか，法の分類についても理解している。 【思】政治とはどのような営みか，自身の身近な事例にも言及しながら考察し，適切に表現している。 【態】国民主権を担う公民としての自覚をもとに，民主政治のあり方や法の意義などについて主体的に理解・追究しようとしている。
②	民主政治の基本原理	【知】基本的人権の歴史的発展について理解している。 【思】基本的人権や法の支配の重要性について，歴史的背景にも言及しながら考察し，それらを適切に表現している。 【態】国民主権を担う公民としての自覚をもとに，基本的人権や法の支配の重要性などについて主体的に理解・追究しようとしている。
③	**民主政治のしくみと課題**	【知】権力分立と立憲主義について，その重要性を理解している。 【思】多数決の長所と短所について，自身の身近な事例にも言及しながら協働的に考察し，適切に表現している。 【態】国民主権を担う公民としての自覚をもとに，民主政治の課題について主体的に理解・追究しようとしている。
④	世界のおもな政治制度	【知】議院内閣制・大統領制をはじめとする各国の政治制度の特徴について，民主政治の諸原理にも着目しながら理解している。 【思】各国の政治制度の共通点・相違点について，立法府と行政府に着目しながら比較・考察し，適切に表現している。 【態】国民主権を担う公民としての自覚をもとに，現実の政治制度に関する課題について主体的に理解・追究しようとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	日本国憲法の成立・日本国憲法の基本原理	【知】日本国憲法の成立過程を理解している。諸外国の憲法に関連する諸情報を信頼性の高い情報源から収集し，知識の補強といった形で適切に扱うことができている。 【思】日本の憲法改正手続きについて，p.21 の Q&A も踏まえながら，その運用上の課題について協働的に考察し，適切に表現している。 【態】憲法の最高法規性や日本国憲法の原理，改正手続きなどについて主体的に理解・追究しようとしている。
	自由に生きる権利	【知】自由権・平等権・社会権と関連する判例（教科書掲載外の判例）を信頼性の高い情報源から収集し，それぞれ適切に分類・整理したうえで，知識の補強といった形で適切に扱うことができている。 【思】自由権，平等権，社会権について，各種判例や自身の身近な事例などと結びつけながら協働的に考察し，適切に表現している。 【態】基本的人権が保障されていることの意義を知り，関心が高まっている。また，たとえば平等権と社会的な差別の諸課題について多面的かつ主体的に考察し，よりよい社会の実現を視野に，学習したことを社会の改善に生かそうとしている。
	平等に生きる権利	【知】自由権・平等権・社会権と関連する判例（教科書掲載外の判例）を信頼性の高い情報源から収集し，それぞれ適切に分類・整理したうえで，知識の補強といった形で適切に扱うことができている。 【思】自由権，平等権，社会権について，各種判例や自身の身近な事例などと結びつけながら協働的に考察し，適切に表現している。 【態】基本的人権が保障されていることの意義を知り，関心が高まっている。また，たとえば平等権と社会的な差別の諸課題について多面的かつ主体的に考察し，よりよい社会の実現を視野に，学習したことを社会の改善に生かそうとしている。
	社会権と参政権･請求権	【知】自由権・平等権・社会権と関連する判例（教科書掲載外の判例）を信頼性の高い情報源から収集し，それぞれ適切に分類・整理したうえで，知識の補強といった形で適切に扱うことができている。 【思】自由権，平等権，社会権について，各種判例や自身の身近な事例などと結びつけながら協働的に考察し，適切に表現している。 【態】基本的人権が保障されていることの意義を知り，関心が高まっている。また，たとえば平等権と社会的な差別の諸課題について多面的かつ主体的に考察し，よりよい社会の実現を視野に，学習したことを社会の改善に生かそうとしている。
	新しい人権	【知】環境権・知る権利・プライバシーの権利などの新しい人権の内容とそれらの権利が主張されるようになった背景について理解している。 【思】現実社会の問題の解決と個人の権利との調整について，生徒みずからが調べて収集した具体的な事例にもとづきながら協働的に考察し，適切に表現している。 【態】新しい人権について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。
	人権の広がりと公共の福祉	【知】公共の福祉の具体的な事例を信頼性の高い情報源から収集し，知識の補強といった形で適切に扱うことができている。 【思】現実社会の問題の解決と個人の権利との調整について，生徒みずからが調べて収集した具体的な事例にもとづきながら協働的に考察し，適切に表現している。 【態】公共の福祉について主体的に追究することを通して，個人と個人の権利の衝突を調整の方法を社会生活に生かそうとしている。
	平和主義と自衛隊	【知】日本国憲法の平和主義の内容と日米安保体制がうまれた背景について理解している。 【思】「自衛のための必要最小限度の実力はどのように限界づけられるのか」といった議題について多面的に考察し，適切に表現している。 【態】我が国の安全保障と防衛について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。
	日米安全保障体制の変化	【知】1990 年代以降の安全保障体制の変容とこんにちの課題について理解している。 【思】「自衛のための必要最小限度の実力はどのように限界づけられるのか」といった議題について多面的に考察し，適切に表現している。 【態】我が国の安全保障と防衛について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。
	21 世紀の平和主義	【知】日本の安全保障をめぐる現状と課題，自衛隊の海外活動の現状といった諸情報を信頼性の高い情報源から収集し，知識の補強といった形で適切に扱うことができている。 【思】沖縄の基地問題について，時事コラムを利用して協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 【態】我が国の安全保障と防衛について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。
	政治機構と国会	【知】国会の役割や権限，運営について理解している。 【思】「国会はなぜ国権の最高機関とされるのか」といった議題について考え，適切に表現している。 【態】日本の政治機構について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。
	内閣と行政機能の拡大	【知】内閣の権限や議院内閣制のしくみについて理解している。 【思】「国会はなぜ国権の最高機関とされるのか」といった議題について考え，適切に表現している。 【態】日本の政治機構について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。
	公正な裁判の保障	【知】司法権の独立や裁判のしくみ，各裁判所の役割について理解している。 【思】裁判員制度の意義と課題について協働的に考察し，適切に表現している。 【態】司法制度のあり方や司法参加の意義について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。
	地方自治と住民福祉	【知】地方自治の政治・経済的な課題について理解している。 【思】地方財政の課題を考察し，適切に表現している。 【態】地方がかかえる課題の概要を理解したうえで，身近な地域の人口動向や防災面での課題，東京圏への一極集中といった主題に興味関心をもち，探究するための意欲を高めている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
	政党政治	【知】政党政治や日本の政党政治の課題について理解している。 【思】日本の政党政治の課題について，「政治資金」や「政党間の競争」といった観点に立ちながら考え，適切に表現している。 【態】政党の変遷について主体的に追究して，なぜ離合集散が繰り返されるのかといった観点から政党政治の課題を意欲的に解決しようとしている。
	選挙制度	【知】選挙制度の課題，政治活動に関する規制の現状について，信頼性の高い情報源から収集し，適切に整理することができている。 【思】より公正な選挙制度のあり方について，「多様な民意の反映」や「政治の安定」といった観点に立ちながら多面的に考察し，適切に表現している。 【態】選挙制度について関心を深めており，デジタル時代の選挙のあり方の課題を意欲的に解決しようとしている。
	世論と政治参加	【知】マスメディアや市民運動が世論形成と政治にもたらす影響について理解している。 【思】SNS やインターネットの普及が世論形成に与えるメリットとデメリットについて多面的に考察し，適切に表現している。 【態】政治と民意の関係について主体的に追究し，民意を政治に反映させるための課題を意欲的に解決しようとしている。
②	**経済活動の意義**	【知】生産・分配・消費，希少性，トレードオフ，機会費用など，経済の根本的な概念について理解している。 【思】資源の効率的な配分について，効率性と公平性の観点から多面的に考察している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，経済的な効率性と公平性の関係について学習したことを社会生活に生かそうとしている。
	経済社会の変容	【知】資本主義経済の成立と展開，経済における政府の役割の変化について理解している。 【思】資本主義経済の成立以降，経済社会がどのように展開していったか，政府の役割の変化と関連させて考察している。 【態】資本主義経済と社会主義経済の特徴について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。
	経済主体と市場の働き	【知】希少な資源の効率的配分をもたらす市場機構や，寡占や独占，外部不経済，情報の非対称性など市場機能の限界について理解している。 【思】市場経済における生産要素の効率的な配分や，政府の適切な施策について多面的・多角的に考察・構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【態】市場メカニズムの働きや市場の限界について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。
	企業の役割	【知】自身が興味関心をもっている会社情報を信頼性の高い情報源から収集し，適切に整理することができている。 【思】企業が従業員をはじめ，消費者や地域社会などに対してどのような責任を果たすべきか，協働的に考察・構想し，適切に表現している。 【態】企業の社会的責任や法令順守の姿勢について主体的に追究して，企業の不祥事が相次いでいる現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
	国民所得	【知】NI の生産・分配・支出のそれぞれの内容とともに，3 つが理論的に同額になることを理解している。 【思】景気変動による私たちの生活と企業の成長への影響や，政府による景気安定化政策について多面的・多角的に考察し・構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【態】経済成長による経済的な豊かさと幸福について，数値化することが困難な経済活動や生活の諸行動をどのように評価するべきかという観点から，主体的に考えを導きだそうとしている。
	経済成長と国民の福祉	【知】現在においては，GDP などの経済指標では計りきれない福祉的側面からの指標や環境的側面からの指標，社会的側面からの指標などがあることを理解している。 【思】景気変動による私たちの生活と企業の成長への影響や，政府による景気安定化政策について多面的・多角的に考察し・構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【態】経済成長による経済的な豊かさと幸福について，数値化することが困難な経済活動や生活の諸行動をどのように評価するべきかという観点から，主体的に考えを導きだそうとしている。
	金融の役割	【知】金融は，信用創造等により，家計や企業からの資金を様々な経済主体に投資することで資本を増加させ，生産性を高め，社会を豊かに発展させる役割を担っていることを理解している。 【思】景気のそれぞれの局面に対処するため，日本銀行がどのような政策をとっているか，企業との関係も含めて多面的・多角的に考察，構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【態】金融技術の革新について主体的に追究して，それらをよりよい社会の実現を視野にしながら生かそうとしている。
	日本銀行の役割	【知】財政に求められる機能について理解している。 【思】一般会計の歳入・歳出について，一部項目が大きく増加した背景を考察し，適切に表現している。 【態】公平な税負担について，主体的に考えを導きだそうとしている。
	財政の役割と租税	【知】日本の財政の現状と課題について，内容理解や複数資料の読み取りを通じて理解している。 【思】プライマリーバランスの改善や債務残高の減少に資する方策について，多面的・多角的に考察し，論拠をもって表現している。 【態】日本の財政の現状と課題を理解したうえで，財政再建について興味関心をもち，歳出減と歳入増の両面から再建のための方策を積極的に追究しながら，「財政健全化のあり方」を探究するための意欲を高めている。
	日本の財政の課題	【知】日本の財政の現状と課題について，内容理解や複数資料の読み取りを通じて理解している。 【思】プライマリーバランスの改善や債務残高の減少に資する方策について，多面的・多角的に考察し，論拠をもって表現している。 【態】日本の財政の現状と課題を理解したうえで，財政再建について興味関心をもち，歳出減と歳入増の両面から再建のための方策を積極的に追究しながら，「財政健全化のあり方」を探究するための意欲を高めている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
	日本経済の成長と課題	【知】戦後復興，高度経済成長，バブル経済の発生と崩壊などの背景や要因について理解している。 【思】2000 年代以降，景気が拡大しても経済成長率が伸び悩んでいる理由について，多面的・多角的に考察している。 【態】今後の日本経済がどのような豊かさを目指していくべきかについて主体的に追究して，よりよい社会の実現を視野に学習したことを社会生活に生かそうとしている。
	中小企業と農業	【知】・中小企業が日本経済の発展に寄与してきた役割について理解している。 ・農業法人による大規模化や 6 次産業の進展，スマート農業の振興など，日本の農業の新しい流れについて理解している。 【思】・日本経済における中小企業の構造的な課題について，大企業との関係や国際化の観点から多面的・多角的に考察している。 ・持続可能な農業への取り組みと消費者とのかかわりについて多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】・中小企業をめぐる現状を理解したうえで，ベンチャー企業のあり方について興味関心をもち，「起業」について探究するための意欲を高めている。 ・農業をめぐる現状と課題を理解したうえで，これからの日本の農業について興味関心をもち，「持続可能な農業のあり方」を探究するための意欲を高めている。
	消費者問題	【知】契約の効力が発生する要件や，消費者契約法に定められている契約取り消しの意義などについて理解している。 【思】消費社会の拡大や過度な宣伝等について問いを見出し，消費者主権や消費者の権利の観点などから協働的に考察・構想し，適切に表現している。 【態】消費者の自立と自己責任について関心を深め，消費者の権利と責任に関する課題を意欲的に解決しようとしている。
	公害防止と環境保全	【知】政府による公害対策や環境保全のための法整備について理解している。 【思】環境保全と経済活動の両立について協働的に考察したうえで選択・判断し，それらを適切に表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，循環型社会の実現に向けた諸施策など学習したことを，社会生活に生かそうとしている。
	労働問題と労働者の権利	【知】職場における不当な差別的扱いがあってはならず，そのための法整備と対策が急がれることを理解している。 【思】どうすれば職場における不当な差別的取り扱いが解消できるのか，多面的に考察している。 【態】日本の労働をめぐる現状と課題を理解したうえで，諸外国の労働環境やこれからの日本の労働環境について興味関心をもち，「日本におけるワーク・ライフ・バランス」を探究するための意欲を高めている。
	こんにちの労働問題	【知】具体的な労働問題について，理解している。 【思】非正規雇用の労働者が置かれている厳しい状況について，権利の保障や保護の観点から課題と解消のための政策を協働的に考察・構想し，それを適切に表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，ワーキングプアの解消やワーク・ライフ・バランスの実現を目指して，学習した内容を社会生活に生かそうとしている。
	社会保障の役割と課題	【知】社会保障の考え方を知り，それらが歴史的にどのように制度化されてきたかについて理解している。 【思】日本の社会保障制度の現状と課題について，多面的・多角的な観点（少子高齢化，年金制度，負担と給付のバランス）に立ちながら考察し，適切に表現している。 【態】安心して暮らせる豊かな社会について主体的に追究して，社会保障を社会の中で有効に働かせるための課題を意欲的に解決しようとしている。
③	**国際社会と国際法**	【知】主権国家と国際社会の成り立ちについて理解している。 【思】国際政治や国際法はどのようなものなのか，国内政治や国内法との違いに着目してまとめるなど，適切に表現している。 【態】NGO の取り組みについて主体的に追究し，環境保護や人権擁護に関する課題の解決を意欲的に検討している。
	国際社会の変化	【知】国際社会には中央政府のようなものが存在しておらず，そのなかで各国が国家利益を調整する国際政治が行われていることを理解している。 【思】世界政府のような超国家的存在を設けた場合の問題点について，主権国家の権利の観点などから協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，主権国家間の国家利益を調整することについて学習したことを，他者との利害調整といった社会生活に生かそうとしている。
	国際連合と国際協力	【知】国際連盟の成立と崩壊の歴史的経緯について理解している。 【思】国際連合が抱えている課題について，採決や財政の観点などから協働的に考察し，それらを適切に表現している。 【態】国際連合の専門機関が取り扱っている人権や社会，経済や環境問題に関する行動について主体的に追究し，国際的な課題を意欲的に解決しようとしている。
	こんにちの国際政治	【知】冷戦構造の概要について理解している。 【思】冷戦終結後に地域・民族紛争が多発したことについて，その要因を多面的・多角的に考察している。 【態】国際社会における法の支配について主体的に追究し，各国の国益を超えた問題解決に向けて意欲的に考察している。
	人種・民族問題	【知】人種問題について，具体例（公民権運動，アパルトヘイト）を踏まえながら理解している。 【思】多文化主義を取り入れていくことに関する課題を見出し，その解消に向けて協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 【態】難民や国内避難民について主体的に追究し，いかにしてその支援等に寄与することができるかなど，意欲的に解決しようとしている。
	軍拡競争から軍縮へ	【知】核抑止論の考え方について理解している。また，安全保障のジレンマのために軍縮が進めにくくなっている構造について理解している。 【思】安全保障のジレンマを乗り越えて軍縮を進めていくためには何が必要となされるか，協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 【態】核兵器禁止条約について主体的に追究し，賛成を表明した国と反対した国の主張を比較して，さらに多くの国が参加するためには何が必要なのか，意欲的に検討し解決しようとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法
		【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
	日本の外交と国際社会での役割	【知】戦後の主権回復と国際社会への復帰について，その経過を理解している。 【思】国際の平和と安全のために，国連機構や加盟国がはたすべき役割（とくに日本が今後の国際社会で果たすべき役割）について協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 【態】国際貢献について主体的に追究し，政府レベルや企業レベル，市民レベルの観点から，課題を意欲的に解決しようとしている。
④	貿易と国際収支	【知】国際収支の考え方や，円高・円安が日本経済に与える影響を理解している。 【思】自由貿易が世界全体の発展に寄与するという仮説が適切かどうか，協働的に考察し，それを表現している。 【態】円高や円安が輸出・輸入価格に影響することを踏まえて，円相場の変動にあわせて輸入品や外国株式の購入時期を検討しようとするなど，社会生活に生かそうとしている。
	第二次世界大戦後の国際経済	【知】固定為替相場制から変動為替相場制へと移行した歴史的な経過について理解している。 【思】公正な国際貿易体制とはどのようなものか，協働的に考察し，それらを適切に表現している。 【態】WTO が国際経済体制に果たす役割について主体的に追究し，ドーハラウンドが抱えている課題を意欲的に解決しようとしている。
	国際経済の動向	【知】FTA や EPA がどのようなものであるのかを理解している。 【思】EU の統合について課題を見出し，各国の経済的格差の課題などについて協働的に考察し，適切に表現している。 【態】EU の統合について主体的に追究し，そのなかで生じたイギリスの離脱に見られるように経済統合のひずみをどのように解消するかを意欲的に検討している。
	新興国の台頭	【知】新興国の中でも，とくに中国とインドが世界的な影響力を強めていることを理解している。 【思】地域的経済統合がもつメリットとデメリットについて，自由と公正の観点から協働的に考察し，適切に表現している。 【態】TPP11 や RCEP について主体的に追究し，今後の日本が各国との貿易においてどのように主導的な役割を果たしていくべきか，意欲的に検討しようとしている。
	経済のグローバル化と ICT でかわる世界経済	【知】グローバル化した世界において，多国籍企業の存在が大きくなっていることを理解している。 【思】共生の課題について，経済移民を労働力ではなく「生活人」として擁護するためにはどうすればよいか，協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 【態】国際的な資本取引に対する金融規制について主体的に追究し，OECD における議論などを参考にしながら意欲的に解決しようとしている。
	発展途上国の課題と展望	【知】南北問題について，その背景と現状について理解している。 【思】モノカルチャー経済に依存する経済上の問題について多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に貧困を解消するための具体的な行動について積極的に考察し，社会生活に生かそうとしている。
	地球環境問題，資源エネルギー問題	【知】化石燃料と再生可能エネルギーの特徴について，それぞれ理解している。 【思】調べて整理したパリ協定にもとづく各国の二酸化炭素削減目標を踏まえながら，日本がその目標を達成・実現するための手段について協働的に考察し，適切に表現している。 【態】地球温暖化や資源エネルギーをめぐる現状を理解したうえで，脱炭素社会の形成について興味関心をもち，「地球環境問題，資源エネルギー問題を探究するための意欲を高めている。
	経済協力と日本の役割	【知】先進国による援助の中心として ODA が行われてきたことを理解している。 【思】日本の ODA の特徴と課題はどのようなものか，資金の用途や貸与方式などの観点から協働的に考察し，適切に表現している。 【態】国際社会における貧困と格差の解消について主体的に追究し，JICA による支援活動などについても興味を持ち，それらの課題を意欲的に解決しようとしている。

「６年　公共演習」２単位

使用教材　詳述公共（実教出版），2024 ズームアップ公共資料（実教出版）

評価の観点

評価の観点		
【知】知識・技能	【思】思考力・判断力・表現力	【態】主体的に学習に取り組む態度
現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

年間の学習内容

「公共」	①	社会を作る私たち
	②	人間としてよく生きる
	③	民主社会の倫理
	④	民主国家における基本原理
	⑤	日本国憲法の基本的性格
	⑥	日本の政治機構と政治参加
	⑦	現代の経済社会
	⑧	経済活動のあり方と国民福祉
	⑨	国際政治の動向と課題
	⑩	国際経済の動向と課題

学習計画及び評価方法等

中単元名	小単元（教材名）	評価基準・評価方法
		【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
①	社会を作る私たち	【知】・自らの体験などを振り返ることを通して，自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 ・人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して，自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 ・自分自身が，自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが，自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。 【思】社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などの様々な集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
②	人間としてよく生きる	【知】・人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して，自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 ・選択・判断の手掛かりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 ・現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して，行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが，よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から，よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。 【思】倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。
③	民主社会の倫理	【知】・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して，人間の尊厳と平等，協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが，公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 ・人間の尊厳と平等，個人の尊重，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思】公共的な空間における基本的原理について，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。
④	民主国家における基本原理	【知】・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して，人間の尊厳と平等，協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが，公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 ・個人の尊重，民主主義，法の支配など，公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思】公共的な空間における基本的原理について，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。
⑤	日本国憲法の基本的性格	【知】・法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解している。 ・我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるようにするとともに，我が国の防衛に関する基本的な事柄にも触れながら，変化する国際情勢の中で，我が国の安全が世界の平和の維持といかに不可分に関連しているかについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 【思】自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，法や規範の意義及び役割，我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
⑥	日本の政治機構と政治参加	【知】・司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解している。 ・政治参加と公正な世論の形成，地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，よりよい社会は，憲法の下，個人が議論に参加し，意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 【思】自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，司法参加の意義，政治参加と公正な世論の形成，地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

中単元名	小単元 （教材名）	評価基準・評価方法 【知】（知識・技能）　【思】（思考力・判断力・表現力）　【態】（主体的に学習に取り組む態度）
⑦	現代の経済社会	【知】・雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 【思】自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
⑧	経済活動のあり方と国民福祉	【知】・多様な契約及び消費者の権利と責任，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 【思】自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，多様な契約及び消費者の権利と責任，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
⑨	国際政治の動向と課題	【知】・国家主権，領土（領海，領空を含む。），我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり，国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 【思】自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，国家主権，領土（領海，領空を含む。），我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
⑩	国際経済の動向と課題	【知】・経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，世界経済がより緊密に結び付き，経済活動が世界的な規模で自由に行われていること，一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど，国際社会において相互依存関係が一層深まっていること，国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 【思】自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。